

特定廃棄物埋立処分施設における
環境モニタリング調査結果
(令和7年4月～9月)

(案)

環 境 省

目次

はじめに	1
1 調査実績	2
2 モニタリング調査結果	3
2-1 空間線量率	3
2-2 大気(大気浮遊じん)中の放射能濃度	7
2-3 地下水の水質測定項目及び放射能濃度、井戸水の放射能濃度	12
2-4 浸出水原水、処理水及び放流水の水質測定項目及び放射能濃度	17
2-5 騒音・振動	22
2-6 埋立ガス、埋立地内部温度	24
2-7 悪臭	29
2-8 河川水、河川底質の水質測定項目及び放射能濃度	31
3 連続測定の結果	37
3-1 地下水中の放射能濃度(連続測定)	37
3-2 大気中の放射能濃度(連続測定)	40
3-3 空間線量率(連続測定)	43

はじめに

環境省は、「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法（平成23年法律第110号）」に基づき、福島県内の10万Bq/kg以下の特定廃棄物等の埋立処分を、平成29年11月より特定廃棄物埋立処分施設において実施してきた。令和5年10月末には特定廃棄物の埋立処分が終了し、これ以降、埋立処分施設では、双葉郡8町村の生活ごみ（不燃物）の埋立処分を継続している。

本調査結果は、令和7年4月～9月における埋立処分施設内の地下水及び処理水並びに埋立処分施設周辺のモニタリング調査をとりまとめたものであり、特定廃棄物埋立処分事業に係る技術検討業務で設置した「特定廃棄物埋立処分施設の運営に関するアドバイザー委員会」において審査していただいた。

「特定廃棄物埋立処分施設の運営に関するアドバイザー委員会」委員名簿

委員	五十嵐 康人	国立大学法人京都大学 複合原子力科学研究所 特任教授
○ 委員	植頭 康裕	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 安全・核セキュリティ統括本部 本部長代理
委員	梅村 順	学校法人日本大学 工学部 土木工学科 地盤工学研究室 専任講師
委員	沼田 靖	学校法人日本大学 工学部 生命応用化学科 教授
委員	橋本 温	公立大学法人県立広島大学 生物資源科学部 生命環境学科 教授
委員	山田 正人	国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域 廃棄物処理処分技術研究室 室長
委員	吉田 樹	国立大学法人福島大学 経済経営学類 教授

(敬称略 ○:委員長)

1 調査実績

令和7年4月～9月におけるモニタリング調査実績を表 1-1-1 に示す。

表 1-1-1 モニタリング調査実績（令和7年4月～9月）

調査項目区分		地点数	頻度	令和7年度							
				4月	5月	6月	7月	8月	9月		
特定廃棄物埋立処分施設の場内	1	敷地境界の空間線量率 (バックグラウンド1地点を含む)	6地点	週1回	3,10,17,24	1,8,15,22,29	5,12,19,26	3,10,17,24,31	7,14,21,28	4,11,18,25	
	2	埋立地周囲の空間線量率	4地点	週1回	3,10,17,24	1,8,15,22,29	5,12,19,26	3,10,17,24,31	7,14,21,28	4,11,18,25	
	3	大気(大気浮遊じん)中の放射能濃度 (モニタリングフィールド1地点含む)	4地点	月1回	17	14	19	17	19	11	
	4	地下水	1地点	水質測定項目(2項目)	月1回	10	8	5	3	7	4
				水質測定項目(32項目)	年2回	-	8	-	-	-	-
				放射能濃度	月1回	10	8	5	3	7	4
	5	浸出水 原水	1地点	水質測定項目(10項目)	月1回	10	8	5	3	7	4
				水質測定項目(37項目)	年2回	-	8	-	-	-	-
				放射能濃度	週1回	3,10,17,24	1,8,15,22,29	5,12,19,26	3,10,17,24,31	7,14,21,28	4,11,18,25
	6	処理水	1地点	水質測定項目(10項目)	月1回	10	8	5	3	7	4
				水質測定項目(37項目)	年2回	-	8	-	-	-	-
				放射能濃度	週1回	3,10,17,24	1,8,15,22,29	5,12,19,26	3,10,17,24,31	7,14,21,28	4,11,18,25
	7	放流水	1地点	水質測定項目(10項目)	月1回	10	8	5	3	7	4
				水質測定項目(37項目)	年4回	-	8	-	-	7	-
				放射能濃度	月1回	10	8	5	3	7	4
	8	騒音・振動	1地点	年1回	-	-	-	-	-	-	
9	埋立ガス	5地点	年4回	-	28	-	-	26	-		
10	埋立地内部温度	8地点	年4回	-	28	-	-	26	-		
11	悪臭	2地点	年1回	-	-	-	-	26	-		
周辺環境	12	搬入道路沿道の大気(大気浮遊じん)中の放射能濃度	3地点	年4回	-	-	13	-	29	-	
	13	搬入道路沿道の騒音・振動・交通量	3地点	年4回	-	-	13	-	29	-	
	14	井戸水の放射能濃度	2地点	年1回	-	15	-	-	-	-	
	15	河川水の水質測定項目及び放射能濃度	8地点	年4回	-	8	-	-	7	-	
	16	河川底質の放射能濃度	8地点	年1回	-	19	-	-	-	-	

(注) 表中の数字は実施日を示す。

2 モニタリング調査結果

2-1 空間線量率

1) 調査地点

空間線量率の調査地点を図 2-1-1 に示す。

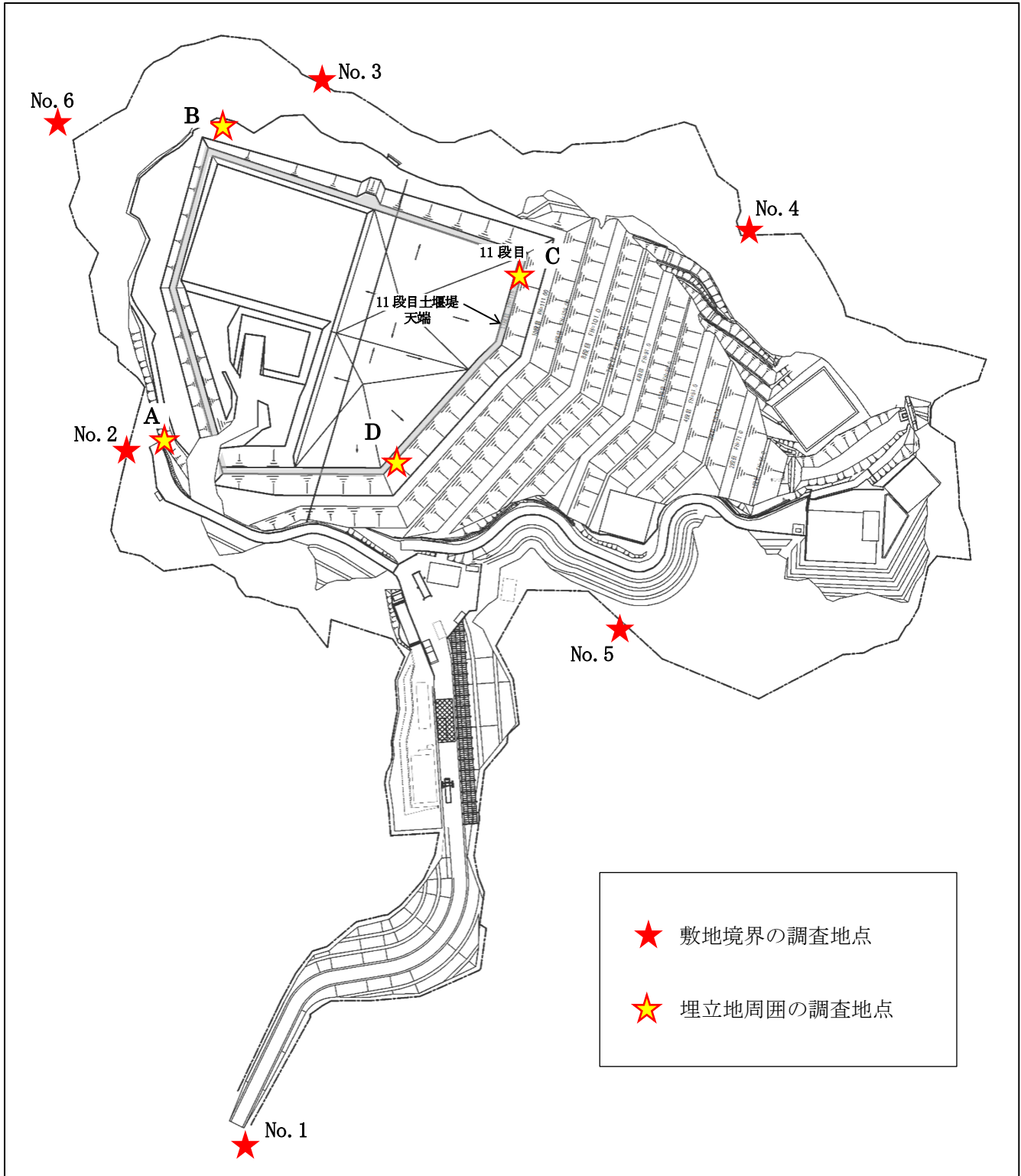


図 2-1-1 空間線量率の調査地点

(1) 敷地境界

敷地境界付近の6地点で測定した。各地点の調査状況を写真 2-1-1 に示す。



No. 1 正門付近



No. 2 西門付近



No. 3 上流側区画の北側



No. 4 下流側区画の北側



No. 5 下流側区画の南側



No. 6 上流側区画の西側

写真 2-1-1 空間線量率(敷地境界)の調査状況(撮影日:令和7年5月15日)

(2) 埋立地周囲

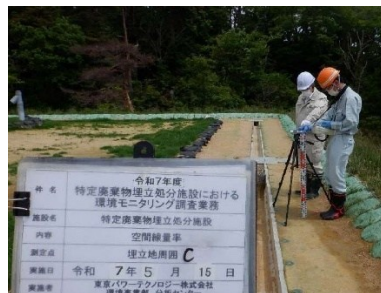
埋立地周囲の4地点で測定した。各地点の調査状況を写真 2-1-2 に示す。



地点 A : 上流側区画の南側



地点 B : 上流側区画の北側



地点 C : 下流側区画の北側



地点 D : 下流側区画の南側

写真 2-1-2 空間線量率(埋立地周囲)の調査状況(撮影日:令和7年5月15日)

2) 調査結果

(1) 敷地境界

敷地境界の空間線量率の調査結果を表 2-1-1 及び図 2-1-2 に示す。

表 2-1-1 敷地境界の空間線量率の調査結果

調査地点	令和7年度																										
	4月				5月					6月				7月					8月				9月				
	3日	10日	17日	24日	1日	8日	15日	22日	29日	5日	12日	19日	26日	3日	10日	17日	24日	31日	7日	14日	21日	28日	4日	11日	18日	25日	
No.1	0.17	0.18	0.18	0.18	0.17	0.18	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.16	0.16	0.17	0.16	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17		
No.2	0.29	0.30	0.30	0.29	0.29	0.30	0.30	0.30	0.30	0.29	0.29	0.29	0.28	0.29	0.30	0.28	0.29	0.29	0.28	0.28	0.28	0.28	0.29	0.30	0.29	0.30	
No.3	0.39	0.39	0.37	0.38	0.38	0.38	0.37	0.37	0.37	0.36	0.37	0.35	0.35	0.36	0.37	0.36	0.36	0.36	0.35	0.34	0.35	0.35	0.36	0.35	0.37	0.38	
No.4	0.45	0.45	0.44	0.43	0.44	0.43	0.42	0.43	0.42	0.41	0.42	0.41	0.41	0.42	0.44	0.41	0.41	0.41	0.41	0.40	0.39	0.40	0.41	0.42	0.42	0.43	0.44
No.5	0.41	0.42	0.40	0.40	0.41	0.41	0.40	0.39	0.39	0.38	0.38	0.38	0.38	0.39	0.41	0.39	0.39	0.38	0.38	0.37	0.37	0.38	0.38	0.38	0.38	0.39	0.41
No.6	0.42	0.42	0.41	0.41	0.41	0.40	0.39	0.40	0.40	0.39	0.39	0.39	0.38	0.39	0.41	0.39	0.40	0.40	0.39	0.38	0.39	0.38	0.38	0.40	0.41	0.42	

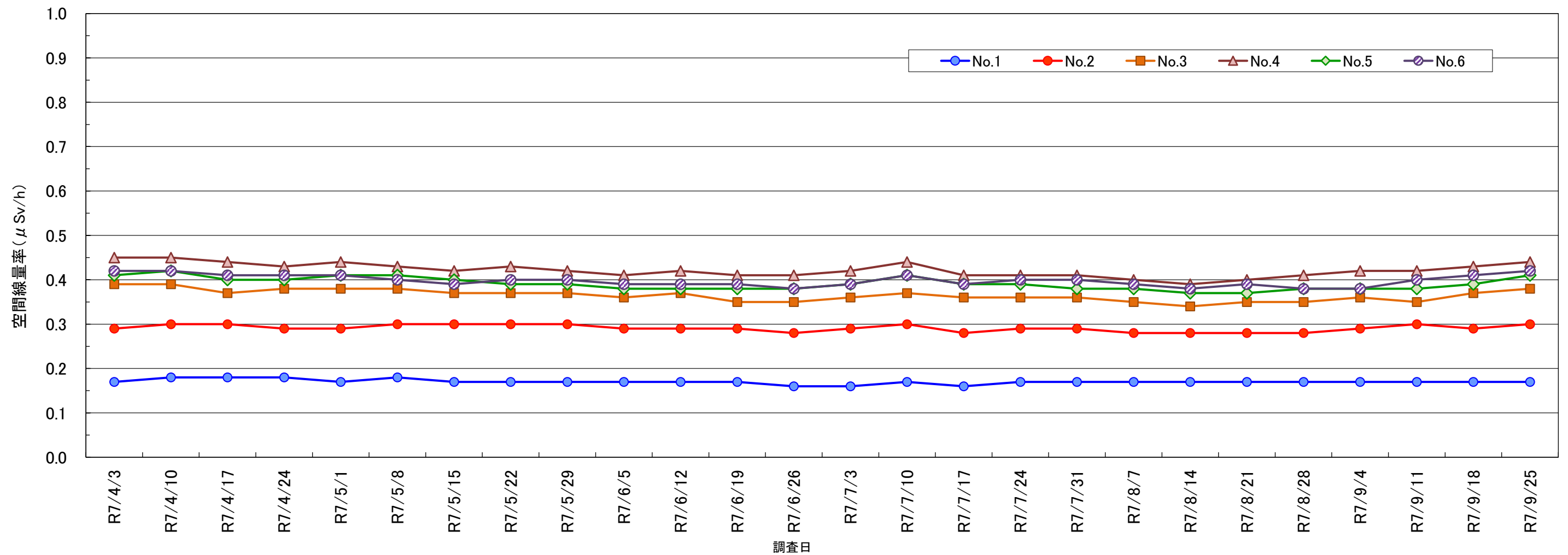


図 2-1-2 敷地境界の空間線量率の調査結果

(2) 埋立地周囲

埋立地周囲の空間線量率の調査結果を表 2-1-2 及び図 2-1-3 に示す。

表 2-1-2 埋立地周囲の空間線量率の調査結果

調査地点	令和7年度																									
	4月				5月					6月				7月					8月				9月			
	3日	10日	17日	24日	1日	8日	15日	22日	29日	5日	12日	19日	26日	3日	10日	17日	24日	31日	7日	14日	21日	28日	4日	11日	18日	25日
A	0.18	0.18	0.17	0.17	0.17	0.16	0.16	0.17	0.16	0.16	0.17	0.16	0.16	0.15	0.17	0.15	0.17	0.16	0.16	0.16	0.16	0.15	0.15	0.16	0.16	0.16
B	0.14	0.14	0.15	0.14	0.14	0.14	0.13	0.14	0.13	0.14	0.14	0.13	0.12	0.13	0.14	0.13	0.14	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.12	0.13	0.13	0.12
C	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09	0.08	0.09	0.09	0.08	0.09	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08	0.09	0.09	0.09	0.09
D	0.09	0.08	0.09	0.09	0.08	0.09	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08

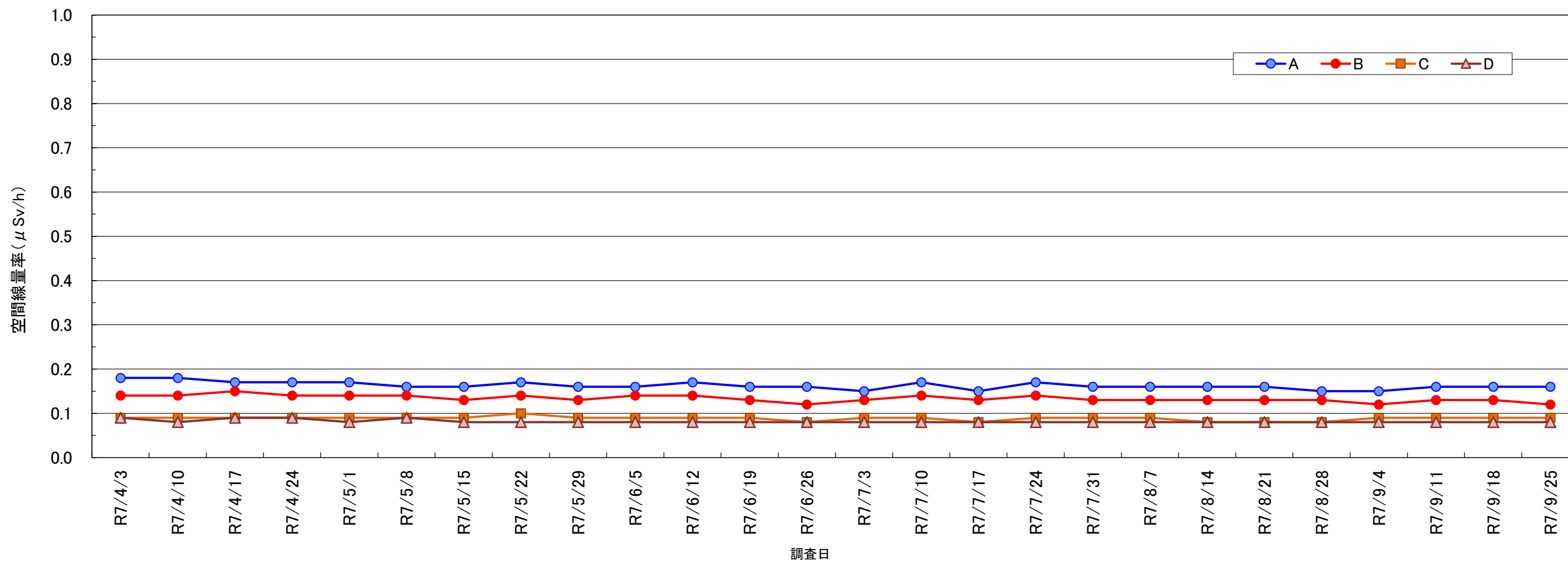


図 2-1-3 埋立地周囲の空間線量率の調査結果

2-2 大気(大気浮遊じん)中の放射能濃度

1) 施設の場合及びモニタリングフィールド

(1) 調査地点

施設の場合及びモニタリングフィールドにおける大気(大気浮遊じん)中の放射能濃度の調査地点を図 2-2-1、図 2-2-2 に示す。

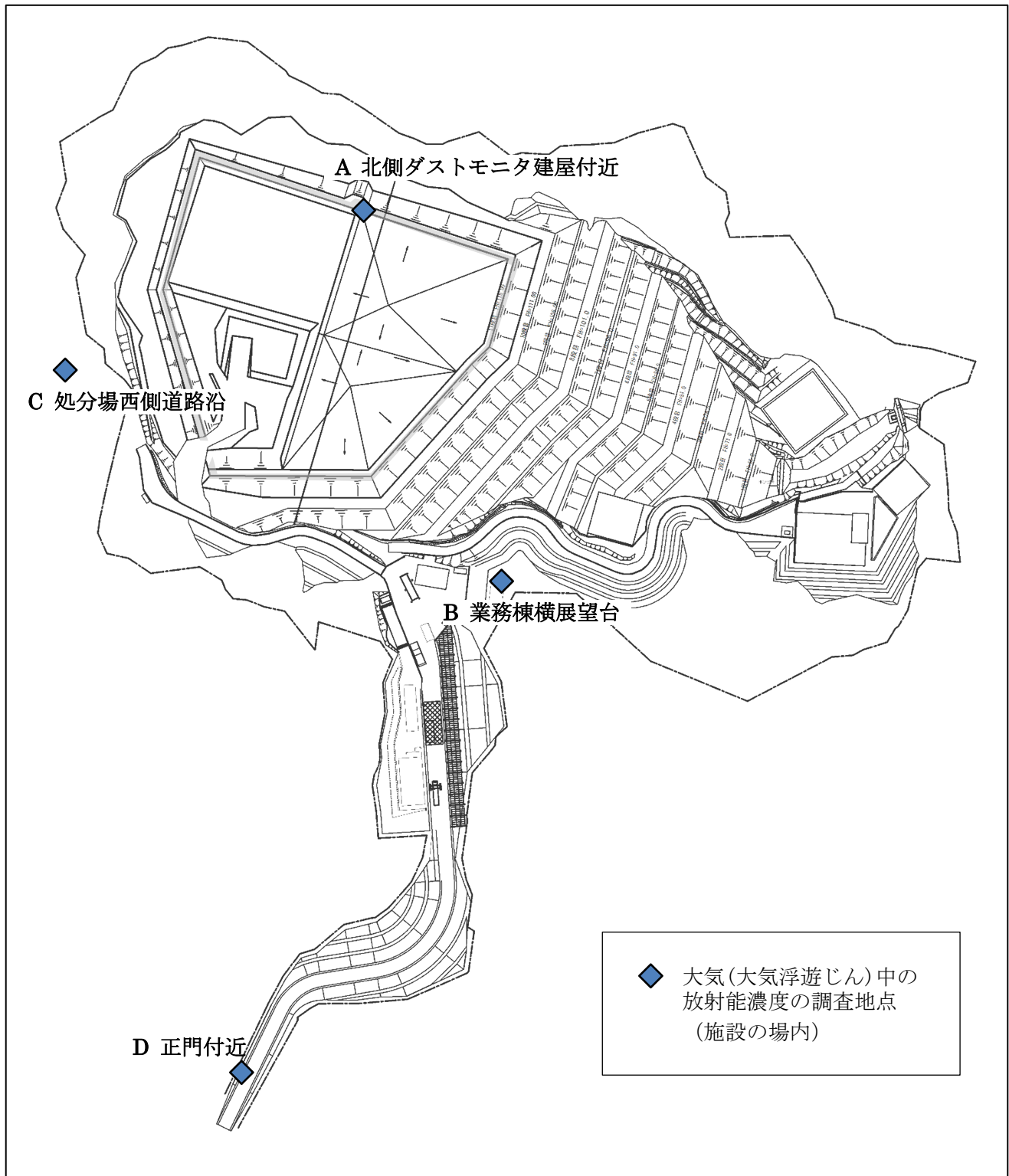


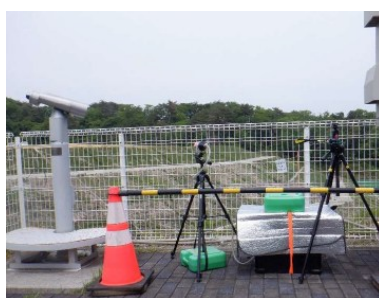
図 2-2-1 大気(大気浮遊じん)中の放射能濃度の調査地点 (施設の場合)



図 2-2-2 大気(大気浮遊じん)中の放射能濃度の調査地点 (モニタリングフィールド)



A 北側ダストモニタ建屋付近



B 業務棟横展望台



C 処分場西側道路沿



D 正門付近



モニタリングフィールド

写真 2-2-1 大気(大気浮遊じん)中の放射能濃度の調査状況 (施設の場内・モニタリングフィールド)
(撮影日:令和7年5月14日)

(2) 調査結果

施設の場内及びモニタリングフィールドにおける大気(大気浮遊じん)中の放射能濃度(Cs-134, Cs-137)の調査結果を表 2-2-1 に示す。調査結果はいずれも検出下限値未満であった。

表 2-2-1 大気(大気浮遊じん)中の放射能濃度(Cs-134, Cs-137)の調査結果
(施設の場内・モニタリングフィールド)

調査地点	単位	令和7年度					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
		17日	14日	19日	17日	19日	11日
A 北側ダストモニタ建屋付近	mBq/m ³	ND	ND	ND	ND	ND	ND
B 業務棟横展望台	mBq/m ³	ND	ND	ND	ND	ND	ND
C 処分場西側道路沿	mBq/m ³	ND	ND	ND	ND	ND	ND
D 正門付近	mBq/m ³	ND	ND	ND	ND	ND	ND
モニタリングフィールド	mBq/m ³	ND	ND	ND	ND	ND	ND

(注) 【ND】は、Cs-134, Cs-137 ともに検出下限値(5mBq/m³)未満であることを示す。

2) 搬入道路沿道

(1) 調査地点

搬入道路沿道における大気(大気浮遊じん)中の放射能濃度の調査地点を図 2-2-3 に示す。

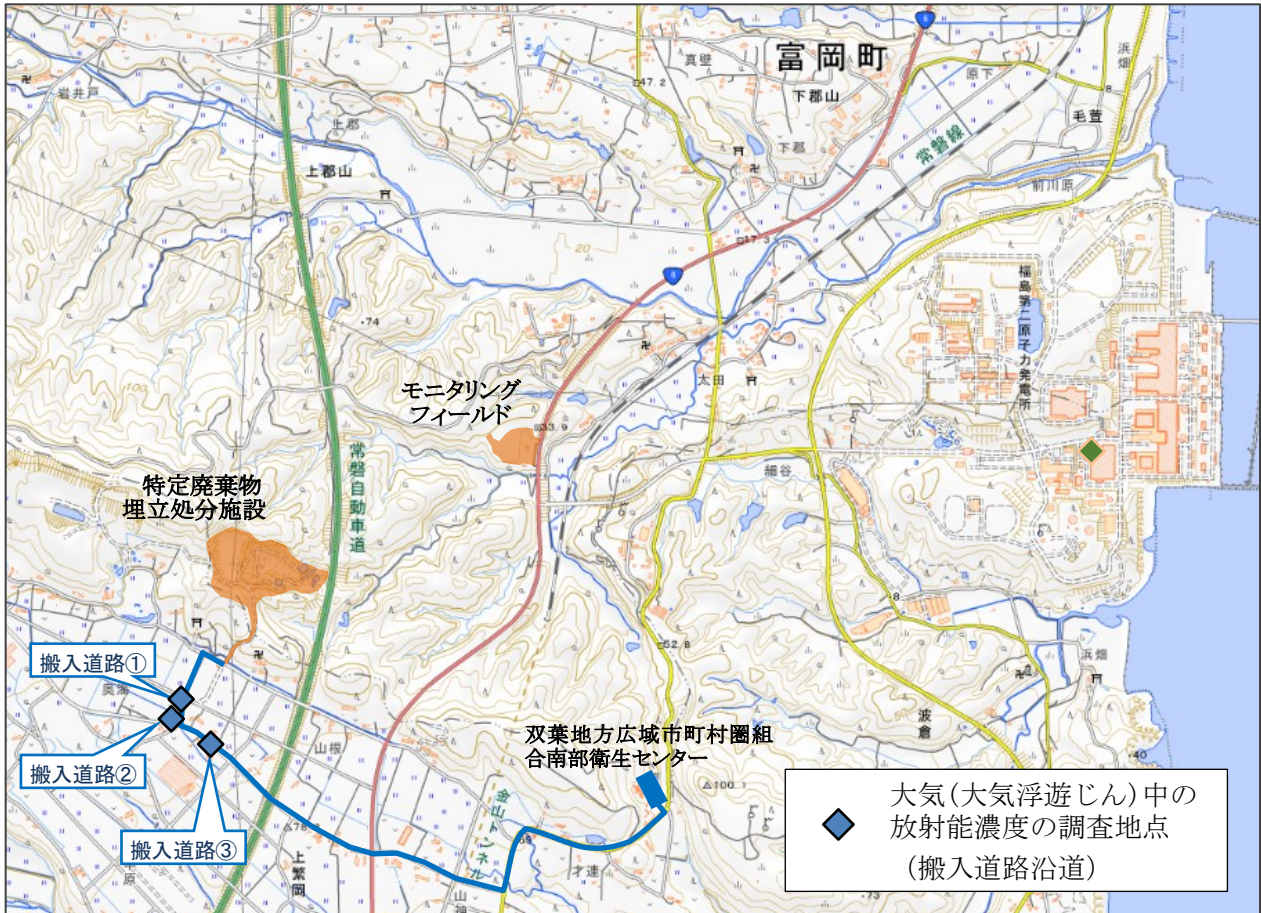


図 2-2-3 大気(大気浮遊じん)中の放射能濃度の調査地点 (搬入道路沿道)



搬入道路 ①



搬入道路 ②



搬入道路 ③

写真 2-2-2 大気(大気浮遊じん)中の放射能濃度の調査状況(搬入道路沿道)
(撮影日:令和7年6月13日)

(2) 調査結果

搬入道路沿道における大気(大気浮遊じん)中の放射能濃度(Cs-134, Cs-137)の調査結果を表 2-2-2に示す。調査結果はいずれも検出下限値未満であった。

表 2-2-2 大気(大気浮遊じん)中の放射能濃度(Cs-134, Cs-137)の調査結果
(搬入道路沿道)

調査地点	単位	令和7年度	
		6月	8月
		13日	29日
搬入道路 ①	mBq/m ³	ND	ND
搬入道路 ②	mBq/m ³	ND	ND
搬入道路 ③	mBq/m ³	ND	ND

(注) 【ND】は、Cs-134, Cs-137ともに検出下限値(5mBq/m³)未満であることを示す。

2-3 地下水の水質測定項目及び放射能濃度、井戸水の水質測定項目及び放射能濃度

1) 地下水(地下水集排水管排水)

(1) 調査地点

地下水は、特定廃棄物埋立処分施設の遮水シートの下に敷設する地下水集排水管から採取した。試料採取は、図 2-3-1 に示す地下水集排水管の端部とした。地下水集排水管からの地下水は、洪水調整池を経て放流される。

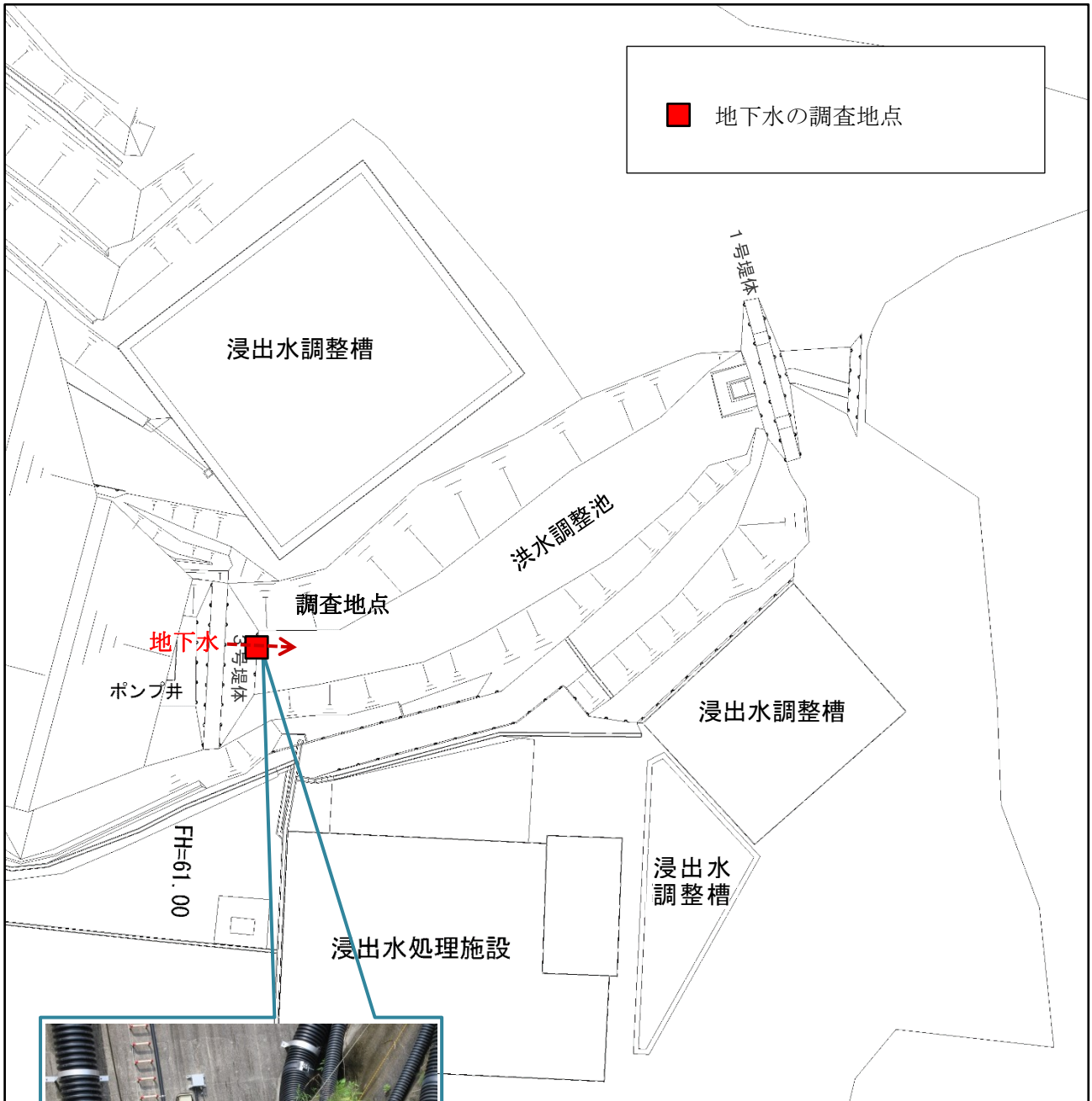


図 2-3-1 地下水の調査地点

(2) 調査結果

① 水質測定項目

地下水の水質調査結果を表 2-3-1 に示す。

表 2-3-1 地下水の水質調査結果

調査項目	単位	令和7年度						基準値
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
		10日	8日	5日	3日	7日	4日	
* 流量	m ³ /s	0.0024	0.0024	0.0025	0.0023	0.0013	0.0013	—
1 カドミウム	mg/L		<0.0003					0.003
2 全シアン	mg/L		<0.1					検出されないこと
3 鉛	mg/L		<0.005					0.01
4 六価クロム	mg/L		<0.01					0.02
5 砒素	mg/L		<0.005					0.01
6 総水銀	mg/L		<0.0005					0.0005
7 アルキル水銀	mg/L		<0.0005					検出されないこと
8 PCB	mg/L		<0.0005					検出されないこと
9 ジクロロメタン	mg/L		<0.002					0.02
10 四塩化炭素	mg/L		<0.0002					0.002
11 1,2-ジクロロエタン	mg/L		<0.0004					0.004
12 1,1-ジクロロエチレン	mg/L		<0.002					0.1
13 1,2-ジクロロエチレン	mg/L		<0.004					0.04
14 1,1,1-トリクロロエタン	mg/L		<0.0005					1
15 1,1,2-トリクロロエタン	mg/L		<0.0006					0.006
16 トリクロロエチレン	mg/L		<0.001					0.01
17 テトラクロロエチレン	mg/L		<0.0005					0.01
18 1,3-ジクロロプロペン	mg/L		<0.0002					0.002
19 チウラム	mg/L		<0.0006					0.006
20 シマジン	mg/L		<0.0003					0.003
21 チオベンカルブ	mg/L		<0.002					0.02
22 ベンゼン	mg/L		<0.001					0.01
23 セレン	mg/L		<0.002					0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L		0.3					10
25 ふっ素	mg/L		<0.08					0.8
26 ほう素	mg/L		0.02					1
27 水素イオン濃度	—		7.5					—
28 化学的酸素要求量	mg/L		2.0					—
29 浮遊物質	mg/L		<1					—
30 電気伝導率	mS/m	67	69	69	68	66	67	—
31 塩化物イオン	mg/L	9	10	9	9	9	10	—
32 クロロエチレン(別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L		<0.0002					0.002
33 1,4-ジオキサン	mg/L		<0.005					0.05
34 ダイオキシン類	pg-TEQ/L		0.038					1

(注) 1) 【<…】は定量下限値未満であることを示す。

2) 基準値は『地下水の水質汚濁に係る環境基準』、『一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令』で定める技術上の基準、『福島県産業廃棄物処理指導要綱』で定める基準及び『ダイオキシン類対策特別措置法』第7条の規定に基づく環境基準のうちの最小値を示し、記載された数値以下とした。

② 地下水の放射能濃度

地下水の放射能濃度(Cs-134, Cs-137)の調査結果を表 2-3-2 に示す。調査結果はいずれも検出下限値未満であった。

表 2-3-2 地下水の放射能濃度(Cs-134, Cs-137)の調査結果

調査項目	単位	令和7年度					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
		10日	8日	5日	3日	7日	4日
地下水(未処理)	Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND
地下水(ろ過) [※]	Bq/L						

(注) 1) 【ND】は、Cs-134, Cs-137 ともに検出下限値(1Bq/L)未満であることを示す。

2) ※：ろ過後試料(未処理試料を孔径0.45 μ mのメンブランフィルターでろ過した試料)は、未処理試料でCs-134, Cs-137 が検出された場合に測定する。

2) 井戸水の放射能濃度

(1) 調査地点

特定廃棄物埋立処分施設周辺の既存の井戸から井戸水を採取した。井戸水の調査地点を図 2-3-2 に示す。

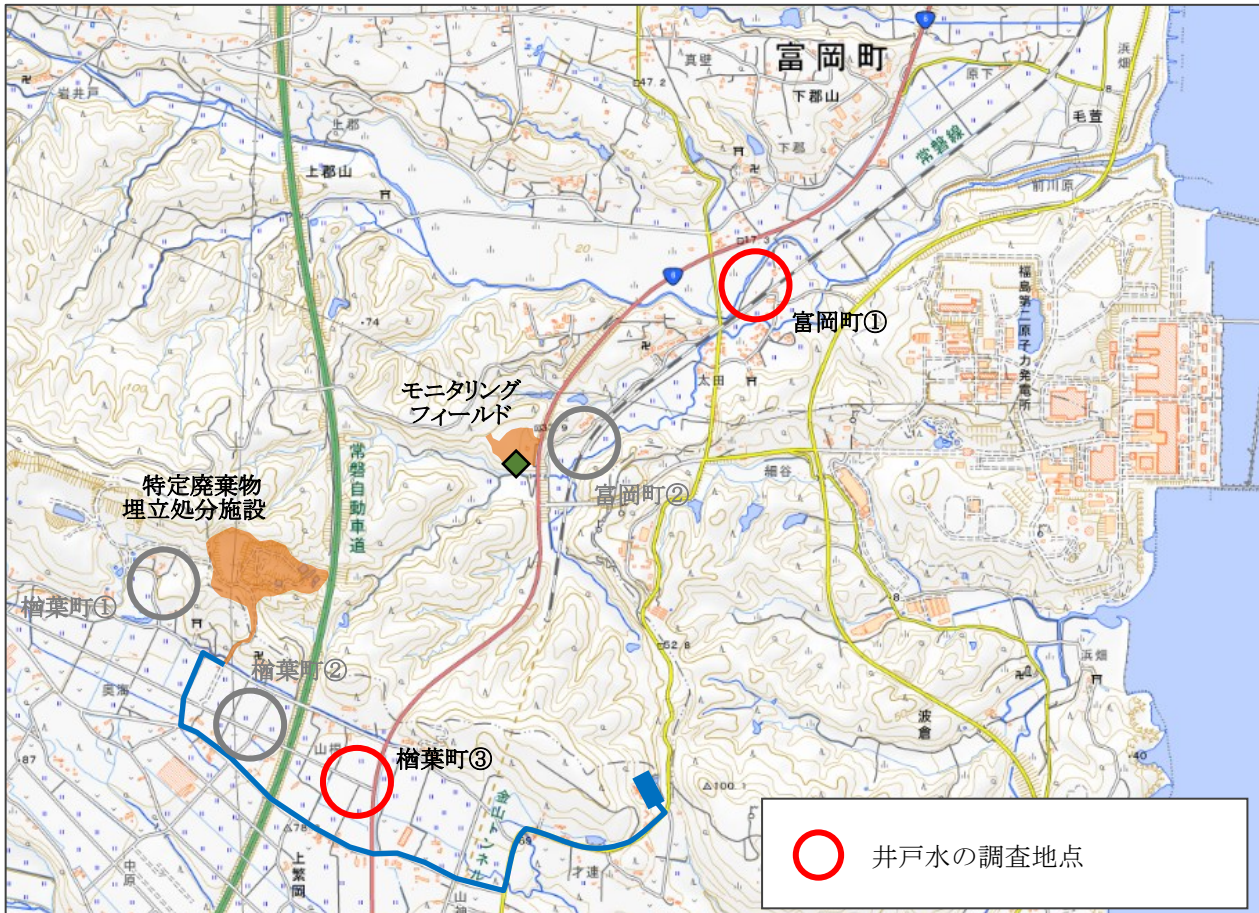


図 2-3-2 井戸水の調査地点

表 2-3-3 調査対象とした井戸の状況

調査地点	既存井戸の種類・用途
富岡町①	浅井戸（農作業、園芸散水等）
富岡町②	浅井戸（雑用水等） 【令和元年度撤去】
榎葉町①	浅井戸（園芸散水等） 【令和2年度撤去】
榎葉町②	浅井戸（農作業等） 【平成30年度撤去】
榎葉町③	浅井戸（農作業等）

(注) 平成29年度当初は5地点で計画していたが、その後の井戸の撤去により、令和7年度は2地点で実施した。

(2) 調査結果

周辺の井戸水の放射能濃度(Cs-134, Cs-137)の調査結果を表 2-3-4 に示す。調査結果はいずれも検出下限値未満であった。

表 2-3-4 周辺の井戸水の放射能濃度(Cs-134, Cs-137)の調査結果

調査項目	単位	令和7年度	
		富岡町	檜葉町
		富岡町① (採取日:5月15日)	檜葉町③ (採取日:5月15日)
井戸水(未処理)	Bq/L	ND	ND
井戸水(ろ過)*	Bq/L		

(注) 1) 【ND】は、Cs-134, Cs-137 ともに検出下限値(1Bq/L)未満であることを示す。

2) ※:ろ過後試料(未処理試料を孔径0.45 μ mのメンブランフィルターでろ過した試料)は、未処理試料でCs-134, Cs-137 が検出された場合に測定する。

2-4 浸出水原水、処理水及び放流水の水質測定項目及び放射能濃度

1) 調査地点

浸出水原水、処理水及び放流水の調査地点を図 2-4-1 に示す。

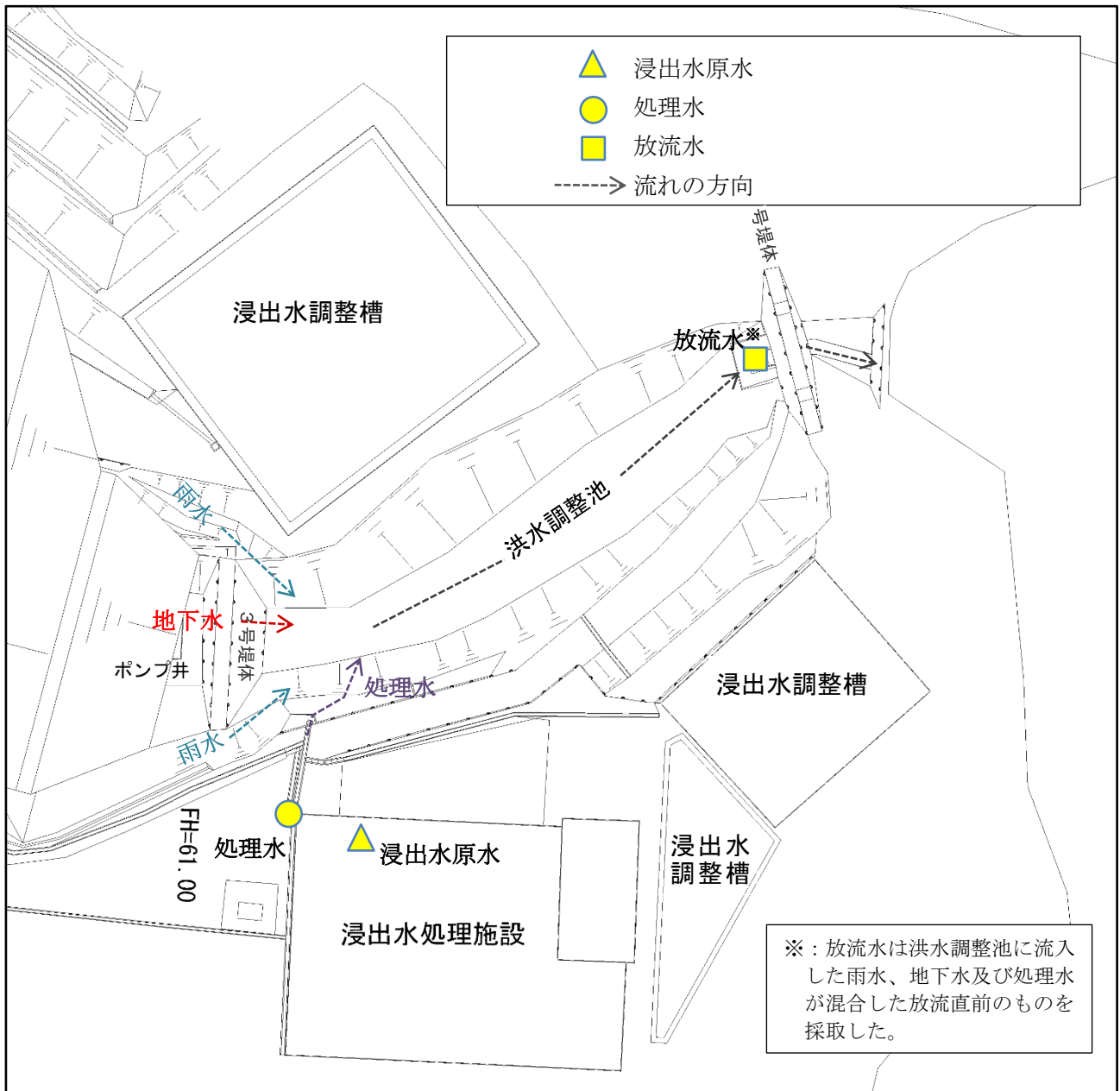


図 2-4-1 浸出水原水、処理水及び放流水の調査地点



浸出水原水



処理水



放流水

写真 2-4-1 浸出水原水、処理水及び放流水の調査状況(撮影日:令和7年5月8日)

2) 調査結果

(1) 水質測定項目

① 浸出水原水

浸出水原水の水質調査結果を表 2-4-1 に示す。

表 2-4-1 浸出水原水の水質調査結果

調査項目	単位	令和7年度						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
		10日	8日	5日	3日	7日	4日	
1	カドミウム及びその化合物	mg/L		0.004				
2	シアン化合物	mg/L		<0.1				
3	有機燐化合物	mg/L		<0.1				
4	鉛及びその化合物	mg/L		<0.05				
5	六価クロム化合物	mg/L		<0.01				
6	砒素及びその化合物	mg/L		<0.01				
7	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/L		<0.0005				
8	アルキル水銀化合物	mg/L		<0.0005				
9	ポリ塩化ビフェニル	mg/L		<0.0005				
10	トリクロロエチレン	mg/L		<0.002				
11	テトラクロロエチレン	mg/L		<0.0005				
12	ジクロロメタン	mg/L		<0.002				
13	四塩化炭素	mg/L		<0.002				
14	1,2-ジクロロエタン	mg/L		<0.004				
15	1,1-ジクロロエチレン	mg/L		<0.02				
16	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L		<0.04				
17	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L		<0.0005				
18	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L		<0.006				
19	1,3-ジクロロプロペン	mg/L		<0.002				
20	チウラム	mg/L		<0.006				
21	シマジン	mg/L		<0.003				
22	チオベンカルブ	mg/L		<0.02				
23	ベンゼン	mg/L		<0.01				
24	セレン及びその化合物	mg/L		<0.01				
25	水素イオン濃度	—	7.5	7.7	7.6	7.5	7.6	7.4
26	生物学的酸素要求量	mg/L	8.9	11	9.0	7.3	8.0	7.4
27	化学的酸素要求量	mg/L	40	48	40	38	34	41
28	浮遊物質質量	mg/L	27	13	4	6	5	6
29	電気伝導率	mS/m	403	585	521	474	606	653
30	ルマルヘキサン抽出物質含有量 〔鉱油類含有量〕	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
31	ルマルヘキサン抽出物質含有量 〔動植物油脂類含有量〕	mg/L	1.5	1.6	1.3	1.8	1.0	1.4
32	フェノール類含有量	mg/L		0.09				
33	銅含有量	mg/L		<0.01				
34	亜鉛含有量	mg/L		0.10				
35	溶解性鉄含有量	mg/L		<0.1				
36	溶解性マンガン含有量	mg/L		2.9				
37	クロム含有量	mg/L		<0.05				
38	ふっ素及びその化合物	mg/L		3.3				
39	大腸菌数	CFU/mL		0				
40	窒素含有量	mg/L	8.5	10.5	9.3	7.8	9.9	11.5
41	磷含有量	mg/L	0.03	0.03	<0.02	0.02	0.02	0.02
42	ほう素及びその化合物	mg/L		3.8				
43	アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物、硝酸化合物	mg/L		5				
44	1,4-ジオキサン	mg/L		0.008				
45	ニッケル含有量	mg/L		0.05				
46	ダイオキシン類	pg-TEQ/L		0.0012				
47	塩化物イオン	mg/L	749	1120	1070	990	1320	1460

(注) 【< 〇・〇】は定量下限値未満であることを示す。

② 処理水

処理水の水質調査結果を表 2-4-2 に示す。

表 2-4-2 処理水の水質調査結果

調査項目	単位	令和7年度						基準値	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
		10日	8日	5日	3日	7日	4日		
1	カドミウム及びその化合物	mg/L		<0.003					0.03
2	シアン化合物	mg/L		<0.1					0.5
3	有機燐化合物	mg/L		<0.1					1
4	鉛及びその化合物	mg/L		<0.05					0.1
5	六価クロム化合物	mg/L		<0.01					0.2
6	砒素及びその化合物	mg/L		<0.01					0.1
7	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/L		<0.0005					0.005
8	アルキル水銀化合物	mg/L		<0.0005					検出されないこと
9	ポリ塩化ビフェニル	mg/L		<0.0005					0.003
10	トリクロロエチレン	mg/L		<0.002					0.1
11	テトラクロロエチレン	mg/L		<0.0005					0.1
12	ジクロロメタン	mg/L		<0.002					0.2
13	四塩化炭素	mg/L		<0.002					0.02
14	1,2-ジクロロエタン	mg/L		<0.004					0.04
15	1,1-ジクロロエチレン	mg/L		<0.02					0.2
16	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L		<0.04					0.4
17	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L		<0.0005					3
18	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L		<0.006					0.06
19	1,3-ジクロロプロペン	mg/L		<0.002					0.02
20	チウラム	mg/L		<0.006					0.06
21	シマジン	mg/L		<0.003					0.03
22	チオベンカルブ	mg/L		<0.02					0.2
23	ベンゼン	mg/L		<0.01					0.1
24	セレン及びその化合物	mg/L		<0.01					0.1
25	水素イオン濃度	—	7.6	7.5	7.4	7.3	7.6	7.5	5.8~8.6
26	生物学的酸素要求量	mg/L	1.0	1.3	1.0	1.1	0.6	0.8	20
27	化学的酸素要求量	mg/L	1.4	2.1	2.2	2.6	1.3	1.5	20
28	浮遊物質	mg/L	<1	1	<1	<1	<1	<1	10
29	電気伝導率	mS/m	660	542	545	587	569	592	—
30	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 〔鉱油類含有量〕	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	1
31	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 〔動植物油脂類含有量〕	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10
32	フェノール類含有量	mg/L		<0.01					1
33	銅含有量	mg/L		<0.01					1
34	亜鉛含有量	mg/L		0.02					2
35	溶解性鉄含有量	mg/L		<0.1					10
36	溶解性マンガン含有量	mg/L		0.35					10
37	クロム含有量	mg/L		<0.05					2
38	ふっ素及びその化合物	mg/L		3.0					8
39	大腸菌数	CFU/mL		0					800
40	窒素含有量	mg/L	0.7	0.7	1.3	1.4	0.9	1.3	15
41	リン含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	16
42	ほう素及びその化合物	mg/L		3.4					10
43	アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物、硝酸化合物	mg/L		<2					100
44	1,4-ジオキサン	mg/L		0.005					0.5
45	ニッケル含有量	mg/L		0.06					2
46	ダイオキシン類	pg-TEQ/L		0					10
47	塩化物イオン	mg/L	1480	1110	1140	1340	1300	1380	—

(注) 1) 【< …】は定量下限値未満であることを示す。

2) 基準値は「『一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令』で定める技術上の基準」、「福島県生活環境の保全等に関する条例」で定める排水指定事業場排水基準」及び「『福島県産業廃棄物処理指導要綱』で定める基準」のうちの最小値を示し、記載された数値以下とした。

③ 放流水

放流水の水質調査結果を表 2-4-3 に示す。

表 2-4-3 放流水の水質調査結果

調査項目	単位	令和7年度						基準値	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
		10日	8日	5日	3日	7日	4日		
1	カドミウム及びその化合物	mg/L		<0.003			<0.003		0.03
2	シアン化合物	mg/L		<0.1			<0.1		0.5
3	有機燐化合物	mg/L		<0.1			<0.1		1
4	鉛及びその化合物	mg/L		<0.05			<0.05		0.1
5	六価クロム化合物	mg/L		<0.01			<0.01		0.2
6	砒素及びその化合物	mg/L		<0.01			<0.01		0.1
7	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/L		<0.0005			<0.0005		0.005
8	アルキル水銀化合物	mg/L		<0.0005			<0.0005		検出されないこと
9	ポリ塩化ビフェニル	mg/L		<0.0005			<0.0005		0.003
10	トリクロロエチレン	mg/L		<0.002			<0.002		0.1
11	テトラクロロエチレン	mg/L		<0.0005			<0.0005		0.1
12	ジクロロメタン	mg/L		<0.002			<0.002		0.2
13	四塩化炭素	mg/L		<0.002			<0.002		0.02
14	1,2-ジクロロエタン	mg/L		<0.004			<0.004		0.04
15	1,1-ジクロロエチレン	mg/L		<0.02			<0.02		0.2
16	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L		<0.04			<0.04		0.4
17	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L		<0.0005			<0.0005		3
18	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L		<0.006			<0.006		0.06
19	1,3-ジクロロプロペン	mg/L		<0.002			<0.002		0.02
20	チウラム	mg/L		<0.006			<0.006		0.06
21	シマジン	mg/L		<0.003			<0.003		0.03
22	チオベンカルブ	mg/L		<0.02			<0.02		0.2
23	ベンゼン	mg/L		<0.01			<0.01		0.1
24	セレン及びその化合物	mg/L		<0.01			<0.01		0.1
25	水素イオン濃度	—	8.1	8.1	8.1	8.1	8.0	8.1	5.8~8.6
26	生物学的酸素要求量	mg/L	1.2	1.3	1.4	1.4	1.1	1.0	20
27	化学的酸素要求量	mg/L	1.7	2.2	2.1	2.4	1.6	1.1	20
28	浮遊物質	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	<1	10
29	電気伝導率	mS/m	116	99	99	112	101	104	—
30	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 〔鉱油類含有量〕	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	1
31	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 〔動植物油脂類含有量〕	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10
32	フェノール類含有量	mg/L		<0.01			<0.01		1
33	銅含有量	mg/L		<0.01			<0.01		1
34	亜鉛含有量	mg/L		<0.01			<0.01		2
35	溶解性鉄含有量	mg/L		<0.1			<0.1		10
36	溶解性マンガン含有量	mg/L		0.07			0.06		10
37	クロム含有量	mg/L		<0.05			<0.05		2
38	ふっ素及びその化合物	mg/L		<0.8			<0.8		8
39	大腸菌数	CFU/mL		1			3		800
40	窒素含有量	mg/L	0.6	0.6	0.7	0.6	0.7	0.6	15
41	燐含有量	mg/L	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.03	16
42	ほう素及びその化合物	mg/L		0.4			0.5		10
43	アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物、硝酸化合物	mg/L		<2			<2		100
44	1,4-ジオキサン	mg/L		<0.005			<0.005		0.5
45	ニッケル含有量	mg/L		<0.01			<0.01		2
46	ダイオキシン類	pg-TEQ/L		0.00056			0.00080		10
47	塩化物イオン	mg/L	173	139	140	177	126	160	—

(注) 1) 【< …】は定量下限値未満であることを示す。

2) 基準値は「『一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令』で定める技術上の基準」、「『福島県生活環境の保全等に関する条例』で定める排水指定事業場排水基準」及び「『福島県産業廃棄物処理指導要綱』で定める基準」のうちの最小値を示し、記載された数値以下とした。

(2) 放射能濃度

浸出水原水、処理水及び放流水の放射能濃度(Cs-134, Cs-137)の調査結果を表 2-4-4に示す。

表 2-4-4 浸出水原水、処理水及び放流水の放射能濃度(Cs-134, Cs-137)の調査結果

(単位：Bq/L)

調査地点	令和7年度																									
	4月				5月					6月				7月					8月				9月			
	3日	10日	17日	24日	1日	8日	15日	22日	29日	5日	12日	19日	26日	3日	10日	17日	24日	31日	7日	14日	21日	28日	4日	11日	18日	25日
浸出水原水 (未処理)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
浸出水原水 (ろ過)*																										
処理水 (未処理)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
処理水 (ろ過)*																										
放流水 (未処理)		ND				ND					ND				ND					ND				ND		
放流水 (ろ過)*																										

(注) 1) 【ND】は、Cs-134, Cs-137ともに検出下限値(1Bq/L)未満であることを示す。

2) ※：ろ過後試料(未処理試料を孔径0.45μmのメンブランフィルターでろ過した試料)は、未処理試料でCs-134, Cs-137が検出された場合に測定する。

3) 放流水における基準値：3月間の平均濃度の〈Cs-134濃度(Bq/L)/60(Bq/L)+Cs-137濃度(Bq/L)/90(Bq/L)〉に対する和が1を超えないようにすること。

(平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法施行規則第26条第2項第4号ロ)

2-5 騒音・振動

1) 施設の場合

場内の騒音・振動調査は12月に実施している。

2) 搬入道路沿道

(1) 調査地点

搬入道路沿道における騒音・振動の調査地点を図 2-5-2 に示す。

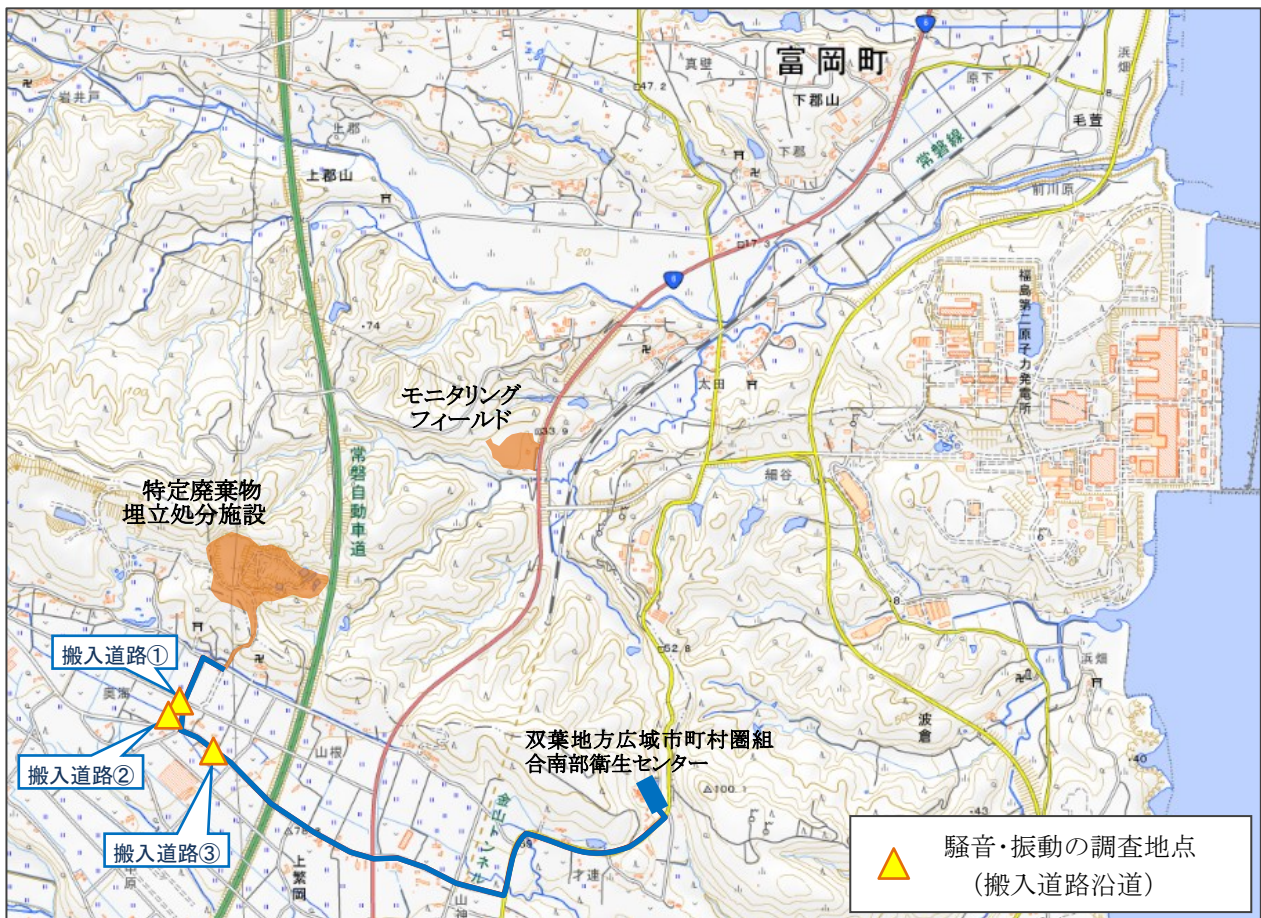


図 2-5-2 騒音・振動の調査地点 (搬入道路沿道)



搬入道路 ①



搬入道路 ②



搬入道路 ③

写真 2-5-1 騒音・振動の調査状況 (搬入道路沿道) (撮影日:令和7年6月13日)

(2) 調査結果

① 交通量

交通量の調査結果を表 2-5-3 に示す。

表 2-5-3 交通量の調査結果 (搬入道路沿道)

調査地点	車種区分等	単位	令和7年度	
			6月13日	8月29日
搬入道路①	大型車 (混入率%)	台/日	76 (20.8%)	91 (22.7%)
	小型車他		289	310
	合計		365	401
搬入道路②	大型車 (混入率%)	台/日	136 (20.1%)	131 (19.5%)
	小型車他		542	542
	合計		678	673
搬入道路③	大型車 (混入率%)	台/日	198 (24.5%)	188 (23.3%)
	小型車他		609	619
	合計		807	807

(注) 調査の対象車種は大型車、小型車及び二輪車。上表の小型車他は小型車と二輪車の台数。

② 騒音

騒音の調査結果を表 2-5-4 に示す。

表 2-5-4 騒音(騒音レベル(L_{Aeq}))の調査結果 (搬入道路沿道)

調査地点	単位	令和7年度		参考値
		6月13日	8月29日	
搬入道路①	dB	60	57	65*
搬入道路②		62	61	
搬入道路③		64	62	

(注)1) 調査時間は7:00~19:00とした。

2) ※: 調査地点は、騒音に係る環境基準の類型指定ではないが、周辺の土地利用を考慮した上で、B地域(主として住居の用に供される地域)のうち道路に面する地域の基準値を参考値とした。

③ 振動

振動の調査結果を表 2-5-5 に示す。

表 2-5-5 振動(振動レベル(L_{10}))の調査結果 (搬入道路沿道)

調査地点	単位	令和7年度		参考値
		6月13日	8月29日	
搬入道路①	dB	<30	<30	65*
搬入道路②		<30	<30	
搬入道路③		<30	<30	

(注) 1) 調査時間は7:00~19:00とした。

2) ※: 調査地点は、振動規制法の指定区域外であるが、土地利用状況を勘案して、指定地域内における道路交通振動の要請限度に示す第1種区域(主に住居として供される地域)を参考値とした。

3) 【<30】は下限値未満であることを示す。

2-6 埋立ガス、埋立地内部温度

1) 調査地点

埋立ガス、埋立地内部(竖管内)温度及び埋立地外周の既設井戸孔内温度の調査地点を図 2-6-1 に示す。

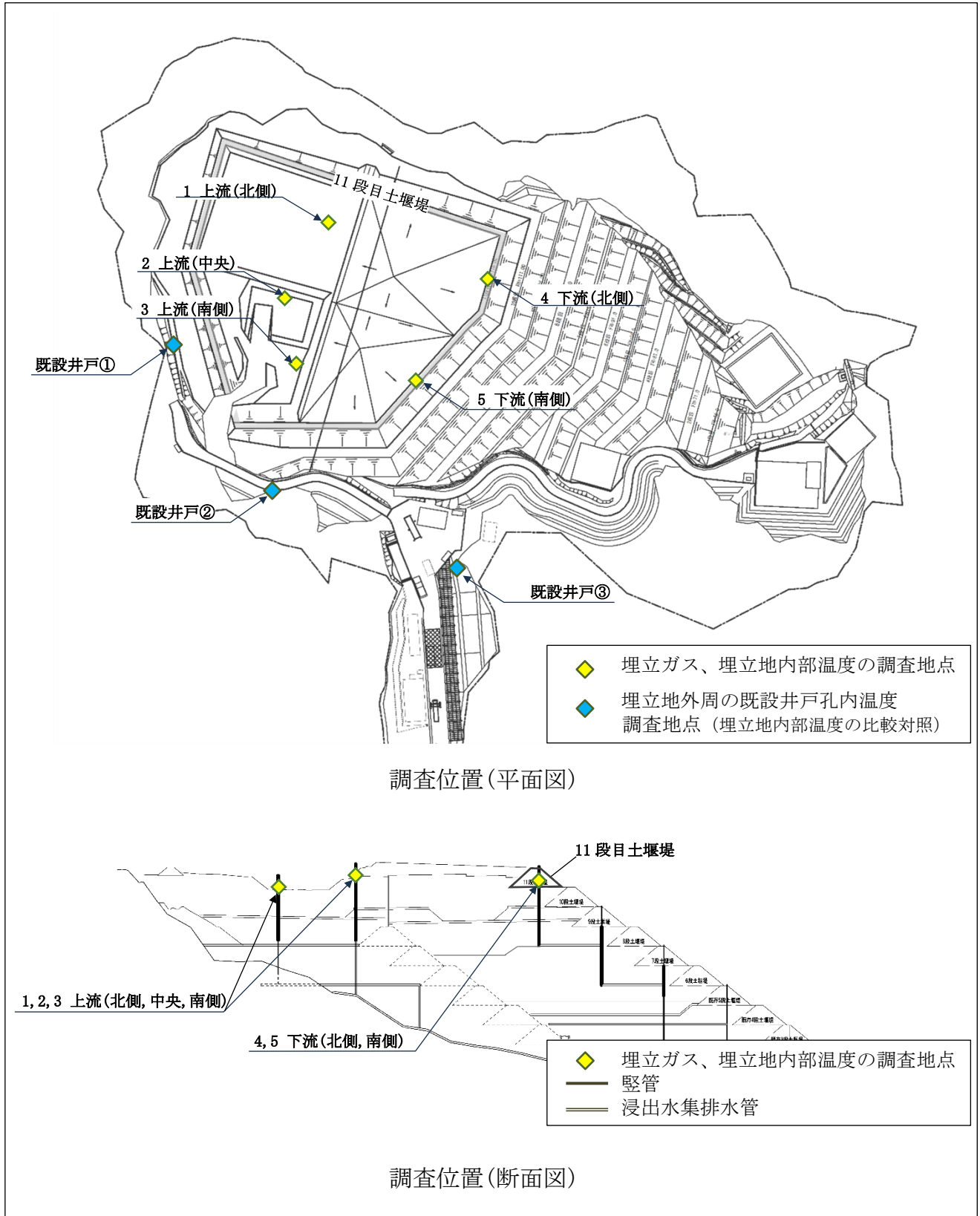


図 2-6-1 埋立ガス、埋立地内部温度及び既設井戸孔内温度の調査地点



1 上流 (北側)



2 上流 (中央)



3 上流 (南側)



4 下流 (北側))



5 下流 (南側)



既設井戸①



既設井戸②



既設井戸③

写真 2-6-1 (1) 埋立ガス、埋立地内部温度及び既設井戸孔内温度の調査状況
(撮影日:令和7年5月28日)



1 上流 (北側)



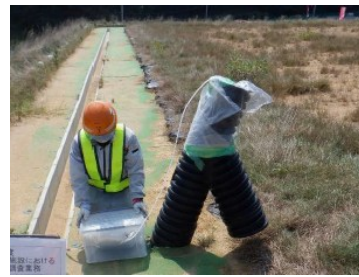
2 上流 (中央)



3 上流 (南側)



4 下流 (北側))



5 下流 (南側)

写真 2-6-1 (2) 埋立ガス、埋立地内部温度及び既設井戸孔内温度の調査状況
(撮影日:令和7年8月26日)

2) 調査結果

埋立ガス、埋立地内部(竖管内)温度及び既設井戸孔内温度の調査結果を表2-6-1、表2-6-2及び図2-6-2に示す。

表 2-6-1 (1) 埋立ガスの調査結果

調査地点	調査結果 (試料採取日: 令和7年5月28日)						
	埋立ガス				ガス量	ガス温度 (外気温)	圧力
	メタン	二酸化 炭素	窒素	酸素			
	vol%	vol%	vol%	vol%	m ³ N/h	°C	hPa
1 上流 (北側)	<0.1	0.19	73.3	19.2	13	23.9 (25.6)	<0.1
2 上流 (中央)	<0.1	0.06	76.8	21.1	31	24.9 (25.2)	<0.1
3 上流 (南側)	<0.1	0.10	75.7	20.3	42	23.9 (26.5)	<0.1
4 下流 (北側)	<0.1	0.06	76.4	20.6	11	23.9 (22.4)	<0.1
5 下流 (南側)	<0.1	0.05	76.3	20.6	8.3	22.7 (21.4)	<0.1

(注) 1) 【< ..】は定量下限値未満であることを示す。

2) 圧力は差圧計により測定した。

表 2-6-1 (2) 埋立ガスの調査結果

調査地点	調査結果 (試料採取日: 令和7年8月26日)						
	埋立ガス				ガス量	ガス温度 (外気温)	圧力
	メタン	二酸化 炭素	窒素	酸素			
	vol%	vol%	vol%	vol%	m ³ N/h	°C	hPa
1 上流 (北側)	<0.1	0.05	78.6	18.6	6.0	31.9 (34.0)	<0.1
2 上流 (中央)	<0.1	<0.05	76.3	21.6	51	30.8 (33.2)	<0.1
3 上流 (南側)	<0.1	<0.05	75.7	21.4	10	28.5 (32.0)	<0.1
4 下流 (北側)	<0.1	<0.05	76.9	21.6	8.0	31.7 (34.0)	<0.1
5 下流 (南側)	<0.1	<0.05	76.0	21.5	6.1	26.6 (35.4)	<0.1

(注) 1) 【< ..】は定量下限値未満であることを示す。

2) 圧力は差圧計により測定した。

表 2-6-2 (1) 埋立地内部温度、既設井戸孔内温度の調査結果

深度 (GL-m)	調査結果 (試料採取日: 令和7年5月28日)							
	埋立地内の豎管内温度(°C)					埋立地外周の既設井戸孔内温度(°C)		
	1 上流 (北側)	2 上流 (中央)	3 上流 (南側)	4 下流 (北側)	5 下流 (南側)	既設井戸 ①	既設井戸 ②	既設井戸 ③
0	23.9	24.9	23.9	23.9	22.7	17.0	19.0	13.0
-1	23.6	23.5	23.9	23.9	22.8	16.8	18.4	11.9
-2	23.5	21.4	24.0	23.9	22.9	16.6	18.0	11.6
-3	23.4	20.8	24.1	23.8	22.9	16.6	18.2	11.6
-4	23.3	20.4	24.2	23.8	23.0	16.8	18.7	11.9
-5	23.2	20.0	24.3	23.9	23.0	17.0	19.0	12.3
-6	23.3	20.0	24.5	23.9	22.9	17.2	19.4	12.5
-7	23.3	20.0	24.6	23.8	22.9	17.3	19.5	12.5
-8	23.3	20.1	24.6	23.7	22.8	17.2	19.6	12.6
-9	23.5	20.4	24.7	23.5	22.8	17.1	19.8	12.5
-10	23.8	20.7	24.7	23.2	22.9	17.1	—	12.5
-11	24.0	20.8	24.7	23.0	23.1	17.0	—	12.5
-12	24.2	21.0	24.6	22.9	23.1	16.8	—	12.6
-13	24.2	21.1	24.6	22.8	23.2	16.6	—	12.7
-14	24.3	21.3	24.6	22.8	23.3	16.4	—	12.9
-15	24.1	21.5	24.4	22.8	23.2	16.3	—	13.0
-16	24.0	22.1	24.1	22.8	23.0	16.3	—	13.2
-17	24.0	22.6	24.4	22.9	22.9	16.2	—	13.3
-18	24.3	22.7	24.6	22.9	23.0	16.2	—	—
-19	24.3	23.0	24.6	23.0	23.2	16.1	—	—
-20	—	—	—	23.2	—	16.2	—	—
-21	—	—	—	—	—	16.2	—	—
-22	—	—	—	—	—	16.1	—	—
-23	—	—	—	—	—	16.1	—	—
-24	—	—	—	—	—	16.0	—	—
-25	—	—	—	—	—	—	—	—

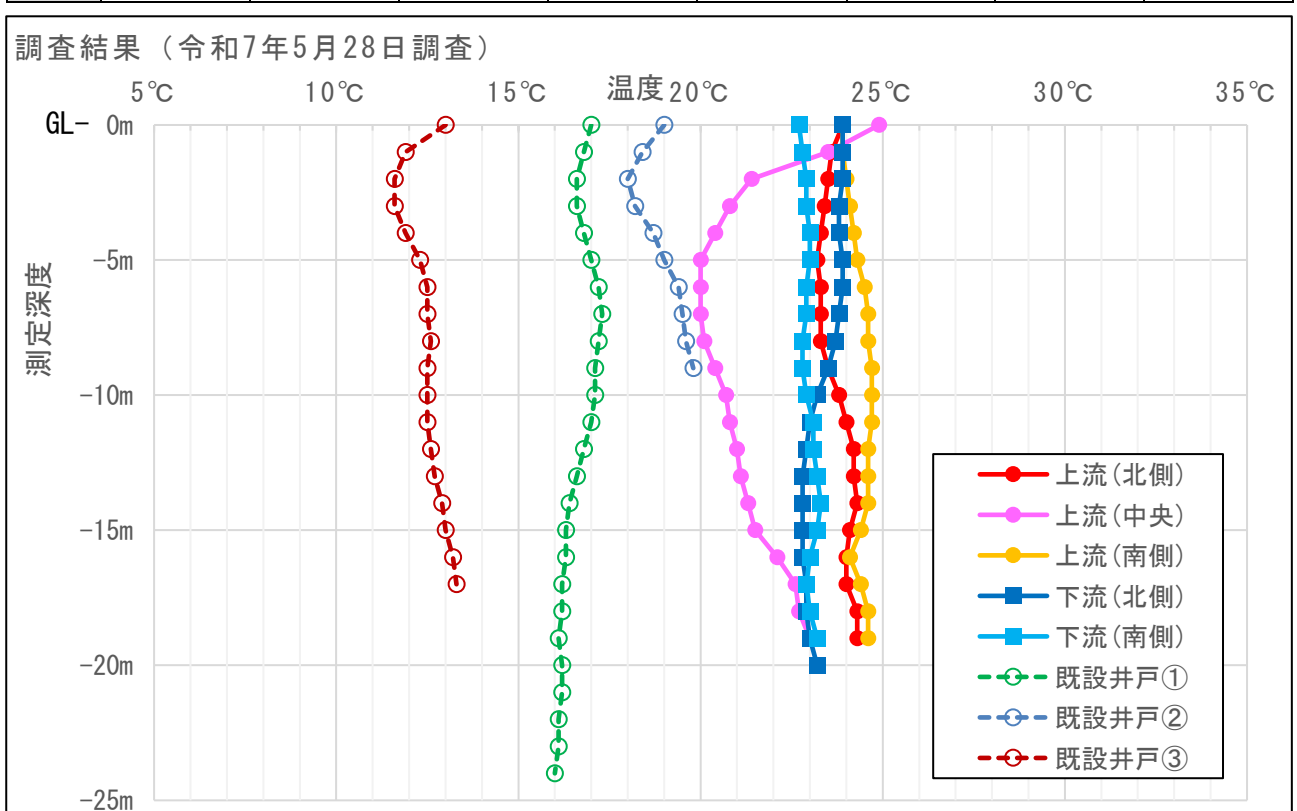


図 2-6-2 (1) 埋立地内部温度、既設井戸孔内温度の調査結果

表 2-6-2 (2) 埋立地内部温度、既設井戸孔内温度の調査結果

深度 (GL-m)	調査結果 (試料採取日: 令和7年8月26日)							
	埋立地内の豎管内温度(°C)					埋立地外周の既設井戸孔内温度(°C)		
	1 上流 (北側)	2 上流 (中央)	3 上流 (南側)	4 下流 (北側)	5 下流 (南側)	既設井戸 ①	既設井戸 ②	既設井戸 ③
0	31.9	30.8	28.5	31.7	26.6	25.5	25.0	24.0
-1	31.4	30.6	27.9	30.9	26.3	20.7	20.6	20.2
-2	31.0	29.3	26.9	30.0	26.4	18.5	18.7	19.1
-3	30.7	28.8	26.4	29.4	26.4	17.6	17.7	17.9
-4	30.1	28.6	26.1	29.4	26.4	17.1	17.3	17.3
-5	29.5	28.5	25.9	29.4	26.3	17.0	17.1	17.1
-6	29.0	28.3	25.7	29.4	26.5	16.9	17.0	17.2
-7	28.8	28.2	25.7	29.1	26.7	16.9	17.0	17.3
-8	28.6	27.9	25.6	29.0	26.7	16.8	17.0	17.2
-9	28.4	27.6	25.6	29.0	26.7	16.8	17.1	17.5
-10	28.2	27.6	25.5	28.8	26.7	16.7	—	17.5
-11	28.4	27.6	25.4	28.8	26.8	16.7	—	17.5
-12	28.3	27.5	25.2	28.8	26.8	16.7	—	17.5
-13	28.1	27.5	25.0	28.6	26.8	16.6	—	17.5
-14	27.5	27.4	24.9	28.6	26.8	16.6	—	17.5
-15	27.4	27.6	24.7	28.6	26.8	16.6	—	17.4
-16	27.2	27.8	24.5	28.7	26.8	16.6	—	17.4
-17	27.1	28.3	24.2	28.8	26.8	16.7	—	17.3
-18	26.9	28.7	23.9	29.0	26.8	16.7	—	—
-19	26.9	29.4	23.8	29.4	26.8	16.9	—	—
-20	—	—	—	29.7	—	17.0	—	—
-21	—	—	—	—	—	17.2	—	—
-22	—	—	—	—	—	17.5	—	—
-23	—	—	—	—	—	17.7	—	—
-24	—	—	—	—	—	18.1	—	—
-25	—	—	—	—	—	—	—	—

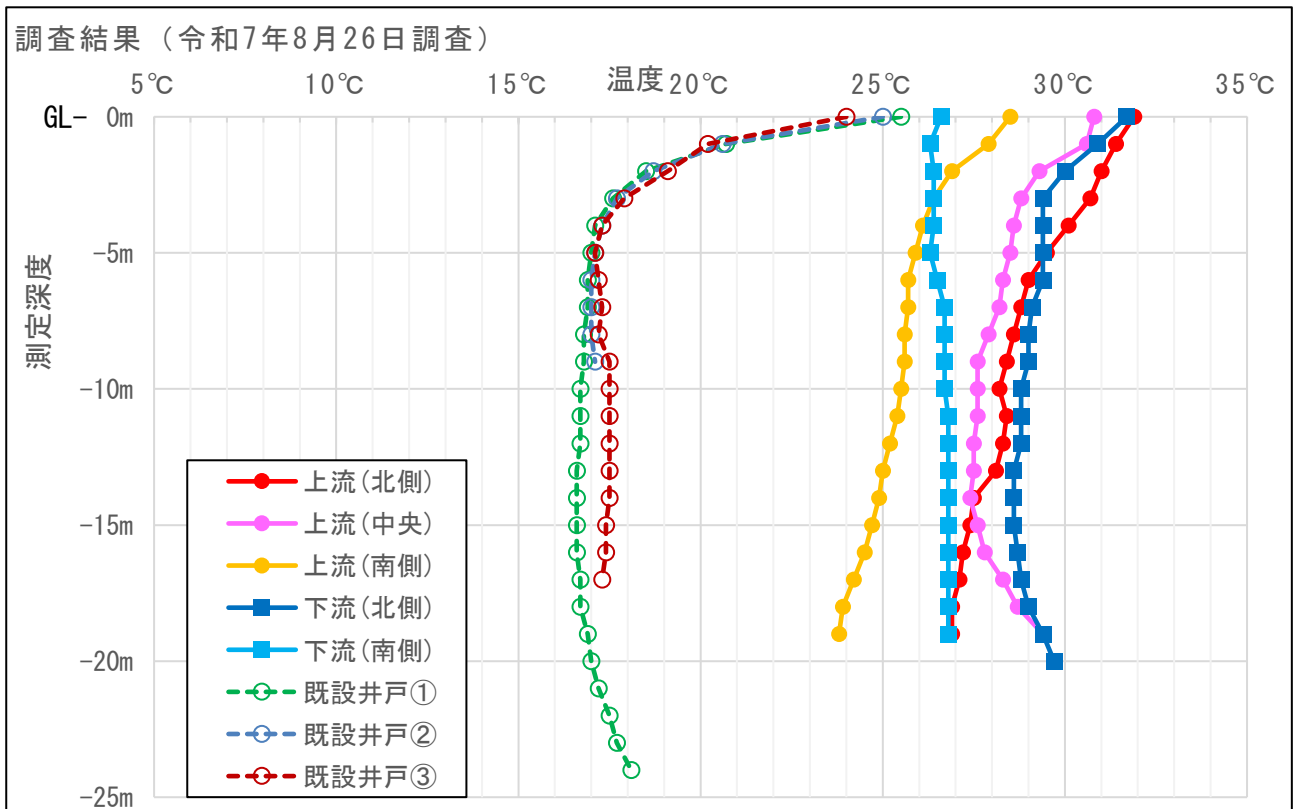


図 2-6-2 (2) 埋立地内部温度、既設井戸孔内温度の調査結果

2-7 悪臭

1) 調査地点

悪臭の調査地点を図 2-7-1 に示す。

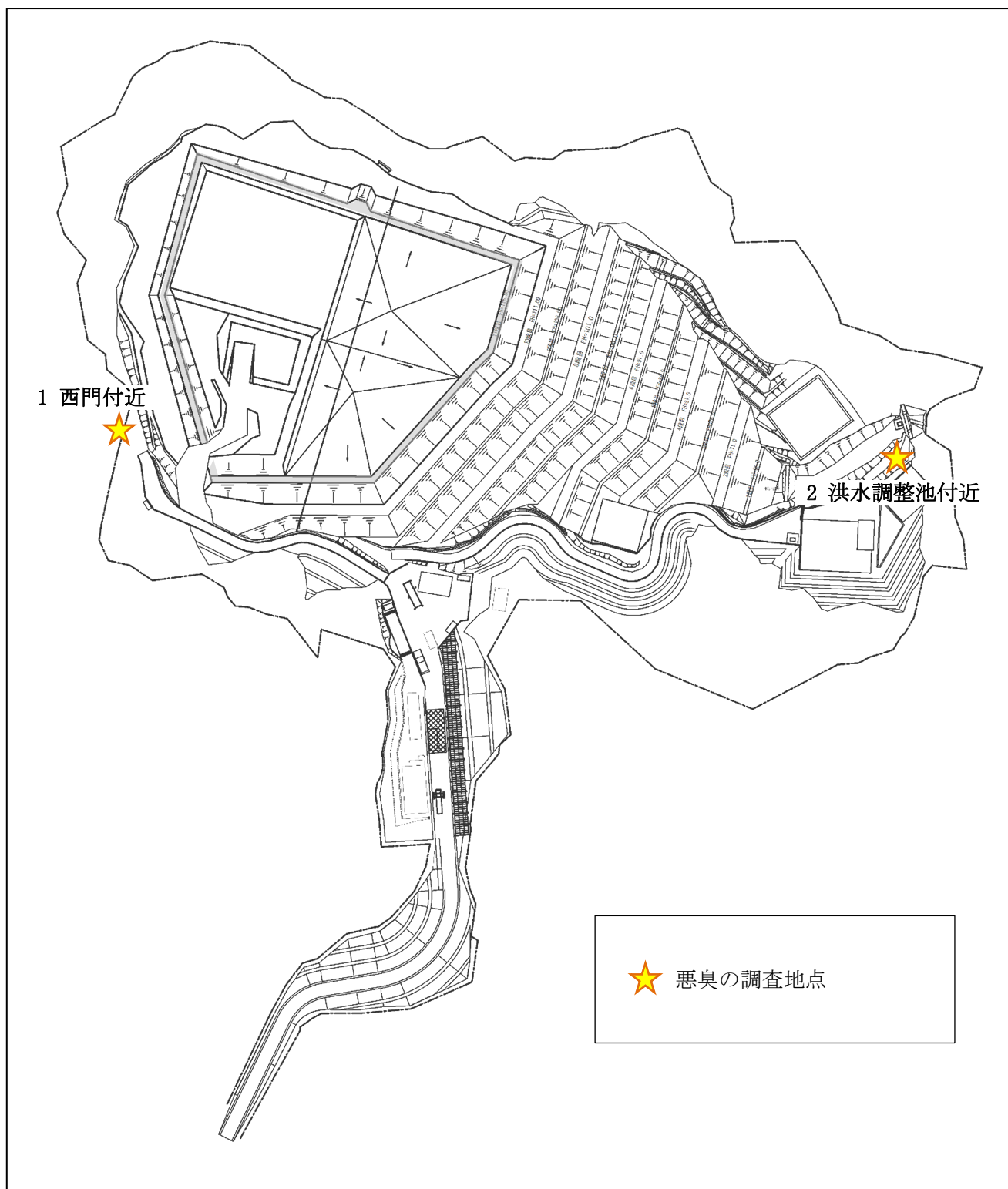


図 2-7-1 悪臭の調査地点

2) 調査結果

悪臭(臭気指数)の調査結果を表 2-7-1 に示す。

表 2-7-1 悪臭(臭気指数)の調査結果

調査地点	調査結果 (試料採取日: 令和7年8月26日)	
	調査結果(臭気指数)	基準値
1 西門付近 (風向き: -※)	<10	10 以下
2 洪水調整池付近 (風向き: 東 2.2m/s)	<10	

- (注) 1) 【<…】は定量下限値未満であることを示す。
 2) 基準値は、「福島県産業廃棄物処理指導要綱」(福島県生活環境部産業廃棄物課)に基づき定めた数値を示す。
 3) ※: 風速が 0.5m/s 未満の状態を示す。



1 西門付近



2 洪水調整池付近

写真 2-7-1 悪臭の調査状況(撮影日:令和7年8月26日)

2-8 河川水、河川底質の水質測定項目及び放射能濃度

1) 調査地点

特定廃棄物埋立処分施設からの放流水の放流先となる下流河川沿いの8地点において調査を実施した。河川水、河川底質の調査地点及び河川水の試料採取時の河川流量を図2-8-1に示す。



調査地点概要	河川流量(m ³ /s)	
	5月8日	8月7日
調査地点①：特定廃棄物埋立処分施設の洪水調整池からの放流先となる水路	0.0226	0.0229
調査地点②：放流先となる水路と農業用ため池からの水路との合流後の水路	0.0289	0.0293
調査地点③：放流先となる水路とは別流域の農業用水路	0.0060	0.0026
調査地点④：農業用水路と合流後の水路（六反田川合流前）	0.0337	0.0336
調査地点⑤：調査地点④水路と合流後の六反田川	0.0523	0.0270
調査地点⑥：紅葉川合流前の六反田川	0.0603	0.0359
調査地点⑦：六反田川合流前の紅葉川	0.0811	0.0305
調査地点⑧：六反田川合流後の紅葉川	0.1850	0.1507

図 2-8-1 河川水、河川底質の調査地点及び河川流量



調査地点①



調査地点②



調査地点③



調査地点④



調査地点⑤



調査地点⑥



調査地点⑦



調査地点⑧

写真 2-8-1 河川水の調査状況(撮影日:令和7年5月8日)

2) 調査結果

(1) 河川水

① 水質測定項目

河川水の水質調査結果を表 2-8-1 に示す。

表 2-8-1 (1) 河川水の水質調査結果

調査項目	単位	調査結果 (試料採取日:令和7年5月8日)								基準値
		地点①	地点②	地点③	地点④	地点⑤	地点⑥	地点⑦	地点⑧	
1 カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
2 全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
3 有機燐化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
4 鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
5 六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
6 砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
7 総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
8 アルキル水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
9 PCB	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
10 トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
11 テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01
12 ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
13 四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
14 1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004
15 1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1
16 シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.04
17 1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1
18 1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
19 1,3-ジクロロプロパン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
20 チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
21 シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
22 チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
23 ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
24 セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01
25 水素イオン濃度	—	8.0	8.0	7.2	7.7	7.7	7.7	7.6	7.6	—
26 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.9	0.7	0.8	0.5	0.6	0.6	0.6	0.7	—
27 化学的酸素要求量	mg/L	2.5	3.2	6.1	4.6	5.4	5.9	4.6	5.1	—
28 浮遊物質	mg/L	2	2	<1	<1	1	<1	1	2	—
29 電気伝導率	mS/m	99	91	18	66	47	44	17	25	—
30 ルマルヘキサン抽出物質含有量 〔鉱油類含有量〕	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
31 ルマルヘキサン抽出物質含有量 〔動植物油脂類含有量〕	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
32 フェノール類含有量	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—
33 銅及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
34 全亜鉛	mg/L	0.004	0.005	0.011	0.004	0.003	0.004	0.001	0.002	—
35 溶解性鉄含有量	mg/L	<0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.2	0.3	—
36 溶解性マンガン含有量	mg/L	0.05	0.05	<0.02	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	—
37 クロム含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	—
38 ふっ素	mg/L	0.36	0.32	<0.08	0.20	0.12	0.11	<0.08	<0.08	0.8
39 大腸菌数	CFU/100mL	35	46	100	180	55	73	16	23	—
40 全窒素	mg/L	0.53	0.56	0.34	0.49	0.45	0.44	0.35	0.36	—
41 全燐	mg/L	0.038	0.039	0.008	0.036	0.030	0.033	0.023	0.026	—
42 ほう素	mg/L	0.43	0.40	<0.02	0.24	0.15	0.12	<0.02	0.04	1
43 アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	10
44 1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05
45 ニッケル含有量	mg/L	0.008	0.007	0.003	0.003	0.003	0.003	<0.001	0.001	—
46 塩化物イオン	mg/L	129	120	9	78	50	43	8	18	—

(注) 1) 【<・>】は定量下限値未満であることを示す。

2) 基準値は『水質汚濁に係る環境基準の人の健康の保護に関する環境基準』（昭和46年環境庁告示第59号）を示し、記載された数値以下とした。

表 2-8-1 (2) 河川水の水質調査結果

調査項目	単位	調査結果 (試料採取日:令和7年8月7日)								基準値	
		地点①	地点②	地点③	地点④	地点⑤	地点⑥	地点⑦	地点⑧		
1	カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
2	全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
3	有機燐化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
4	鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
5	六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
6	砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
7	総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
8	アルキル水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
9	PCB	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
10	トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
11	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01
12	ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
13	四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
14	1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004
15	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1
16	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.04
17	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1
18	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
19	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
20	チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
21	シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
22	チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
23	ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
24	セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01
25	水素イオン濃度	—	8.0	8.0	7.5	8.0	7.8	7.9	7.5	7.6	—
26	生物学的酸素要求量	mg/L	0.9	0.9	0.6	0.8	0.9	1.2	0.9	1.5	—
27	化学的酸素要求量	mg/L	1.9	2.8	8.8	4.3	6.7	6.8	5.3	6.4	—
28	浮遊物質	mg/L	2	4	<1	<1	3	2	3	4	—
29	電気伝導率	mS/m	100	96	20	88	54	55	21	31	—
30	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 〔鉱油類含有量〕	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
31	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 〔動植物油脂類含有量〕	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
32	フェノール類含有量	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—
33	銅及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
34	全亜鉛	mg/L	0.002	0.002	0.004	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	—
35	溶解性鉄含有量	mg/L	<0.1	0.1	0.4	0.2	0.5	0.5	0.4	0.4	—
36	溶解性マンガン含有量	mg/L	0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.03	<0.02	—
37	クロム含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	—
38	ふっ素	mg/L	0.36	0.34	<0.08	0.30	0.16	0.16	<0.08	0.09	0.8
39	大腸菌数	CFU/100mL	190	120	340	380	350	530	88	330	—
40	全窒素	mg/L	0.61	0.61	0.43	0.65	0.61	0.63	0.40	0.58	—
41	全リン	mg/L	0.041	0.041	0.016	0.047	0.048	0.056	0.053	0.061	—
42	ほう素	mg/L	0.47	0.47	<0.02	0.40	0.21	0.21	<0.02	0.08	1
43	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	0.4	0.4	0.3	0.5	0.4	0.4	0.2	0.3	10
44	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05
45	ニッケル含有量	mg/L	0.005	0.004	0.002	0.002	0.002	0.002	<0.001	0.001	—
46	塩化物イオン	mg/L	154	145	8	127	65	65	10	28	—

(注) 1) 【< …】は定量下限値未満であることを示す。

2) 基準値は『水質汚濁に係る環境基準の人の健康の保護に関する環境基準』(昭和46年環境庁告示第59号)を示し、記載された数値以下とした。

② 河川水の放射能濃度

河川水の放射能濃度(Cs-134, Cs-137)の調査結果を表 2-8-2 に示す。

表 2-8-2 (1) 河川水の放射能濃度(Cs-134, Cs-137)の調査結果

調査地点	単位	調査結果 (試料採取日：令和7年5月8日)			
		未処理 (有姿試料)		ろ過後※	
		Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137
①	Bq/L	ND	ND		
②		ND	ND		
③		ND	ND		
④		ND	ND		
⑤		ND	ND		
⑥		ND	ND		
⑦		ND	ND		
⑧		ND	ND		

(注) 1) 【ND】は検出下限値(1Bq/L)未満であることを示す。

2) ※：ろ過後試料(未処理試料を孔径0.45μmのメンブランフィルターでろ過した試料)は、未処理試料でCs-134, Cs-137が検出された場合に測定する。

表 2-8-2 (2) 河川水の放射能濃度(Cs-134, Cs-137)の調査結果

調査地点	単位	調査結果 (試料採取日：令和7年8月7日)			
		未処理 (有姿試料)		ろ過後※	
		Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137
①	Bq/L	ND	ND		
②		ND	ND		
③		ND	ND		
④		ND	ND		
⑤		ND	ND		
⑥		ND	ND		
⑦		ND	ND		
⑧		ND	ND		

(注) 1) 【ND】は検出下限値(1Bq/L)未満であることを示す。

2) ※：ろ過後試料(未処理試料を孔径0.45μmのメンブランフィルターでろ過した試料)は、未処理試料でCs-134, Cs-137が検出された場合に測定する。

(2) 河川底質

河川底質の放射能濃度(Cs-134, Cs-137)の調査結果を表 2-8-3 に示す。

表 2-8-3 河川底質の放射能濃度(Cs-134, Cs-137)の調査結果

調査地点	調査結果 (試料採取日：令和7年5月19日)						
	有姿試料				乾燥重量換算		
	Cs-134 (Bq/kg, 生)	Cs-137 (Bq/kg, 生)	合計 (Bq/kg, 生)	含水率 (%)	Cs-134 (Bq/kg, 乾)	Cs-137 (Bq/kg, 乾)	合計 (Bq/kg, 乾)
①	1.36	120	121	22.6	1.76	155	157
②	ND	62.5	62.5	17.5	ND	75.8	75.8
③	1.63	147	149	19.5	2.02	183	185
④	1.30	104	105	19.3	1.61	129	131
⑤	1.43	111	112	20.5	1.80	140	142
⑥	1.45	119	120	19.6	1.80	148	150
⑦	1.79	167	169	19.8	2.23	208	210
⑧	1.61	133	135	18.4	1.97	163	165

(注) 1) 上澄みをデカンテーションにより除去した後、2Lマリネリ容器に充填して測定した。

2) 【ND】は検出下限値(1Bq/kg, 生)未満であることを示す。

3 連続測定の結果

3-1 地下水中の放射能濃度(連続測定)

1) 調査地点

地下水中の放射能濃度(連続測定)は、特定廃棄物埋立処分施設の遮水シートの下に敷設する地下水集排水管から採取し、浸出水処理施設付近に設置する測定装置により調査している。調査地点を図 3-1-1 に示す。



図 3-1-1 地下水中の放射能濃度(連続測定)の調査地点



地下水採取地点(○印地点)



ユニットハウスの状況



ユニットハウス内の測定装置



制御盤(業務棟に配置)

写真3-1-1 地下水中の放射能濃度(連続測定)の調査状況

2) 調査結果

地下水中の放射能濃度(連続測定)の調査結果を図 3-1-2 に示す。

なお、地下水中の放射能濃度は、NaI シンチレーション検出器を用いて連続的に測定を行っており、周辺環境からの影響によって、一定の幅を持った値(バックグラウンド値)が測定される。

連続測定に加えて、Ge 半導体検出器を用いた精密な地下水の測定(p. 14 参照)を併せて実施しており、これまで放射性セシウムが地下水から検出されたことはない。

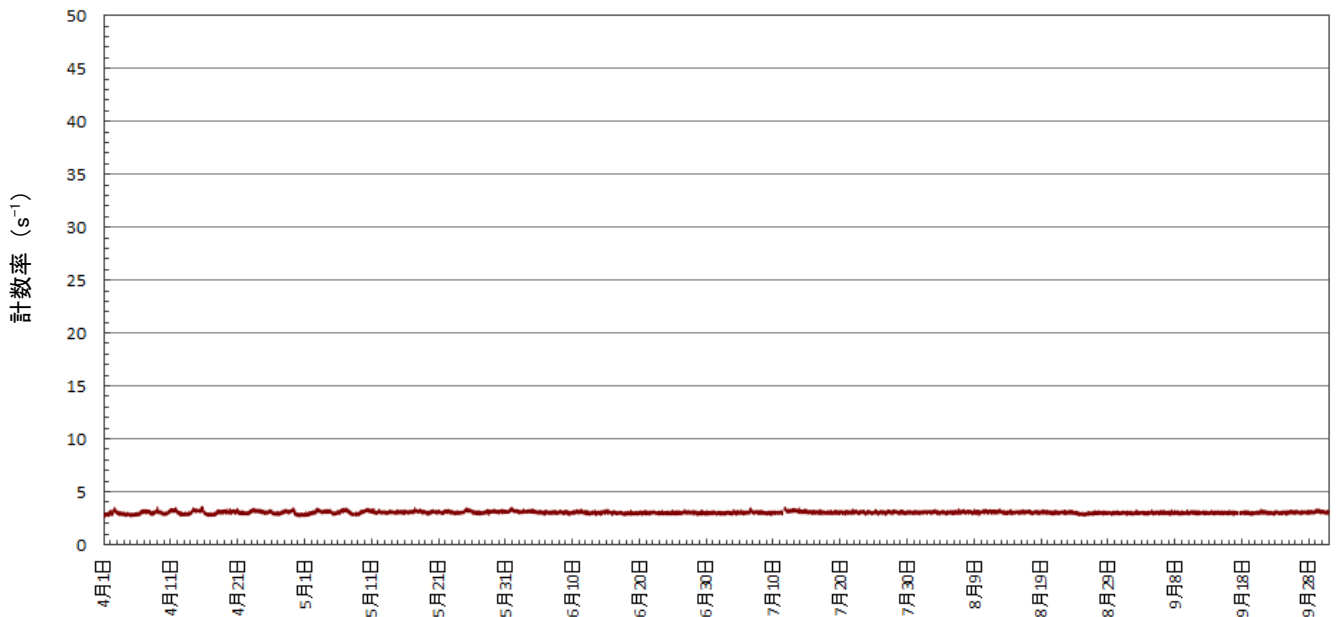


図 3-1-2 地下水中の放射能濃度(連続測定)の経時変化(令和7年4月~令和7年9月)

(注) 1) 10 分間移動平均値の推移を示す。

(例: 9:00 の値は 8:51~9:00 の 1 分ごとの γ 線計数値の平均)

2) メンテナンス等による欠測

5/8 9:04-13:49、7/11 9:17-16:28、9/17 9:13-16:13

3-2 大気中の放射能濃度(連続測定)

1) 調査地点

大気中の放射能濃度(連続測定)は、業務棟及び埋立地北側の2か所に設置した測定装置により調査している。調査地点を図 3-2-1 に示す。



図 3-2-1 大気中の放射能濃度(連続測定)の調査地点



業務棟の測定装置



制御画面



埋立地北側(ユニットハウス外観)



埋立地北側(ユニットハウス近景)

写真 3-2-1 大気中の放射能濃度(連続測定)の調査状況

2) 調査結果

大気中の放射能濃度(連続測定)の調査結果を表 3-2-1 及び図 3-2-2 に示す。

表 3-2-1 大気中放射能濃度(連続測定)の調査結果 (令和7年4月~令和7年9月)
(単位: Bq/m³)

項目			令和7年度					
			4月	5月	6月	7月	8月	9月
大気中放射能濃度	全αの測定値 (最小~最大)	業務棟	ND~ 0.049	ND~ 0.034	ND~ 0.053	ND~ 0.089	ND~ 0.051	ND~ 0.043
		埋立地 北側	ND~ 0.046	ND~ 0.027	ND~ 0.042	ND~ 0.076	ND~ 0.052	ND~ 0.036
	全βの測定値 (最小~最大)	業務棟	ND~ 0.148	ND~ 0.107	ND~ 0.140	ND~ 0.201	ND~ 0.146	ND~ 0.117
		埋立地 北側	ND~ 0.142	ND~ 0.105	ND~ 0.130	ND~ 0.200	ND~ 0.142	ND~ 0.124

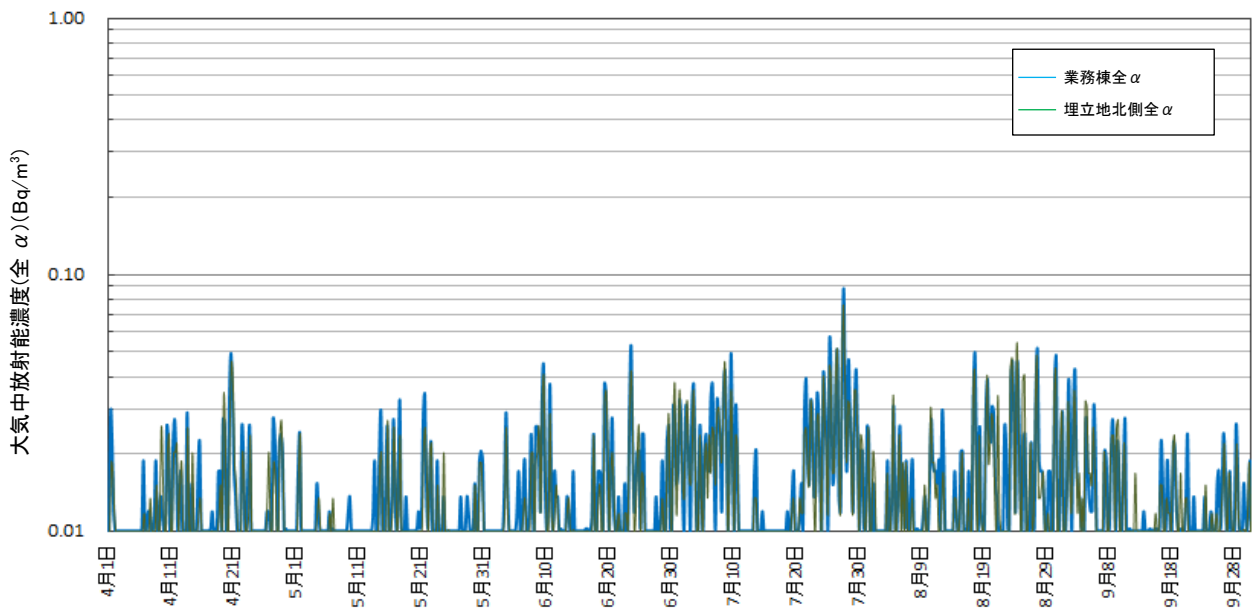


図 3-2-2 (1) 大気中放射能濃度(全 α)の経時変化(令和7年4月~令和7年9月)

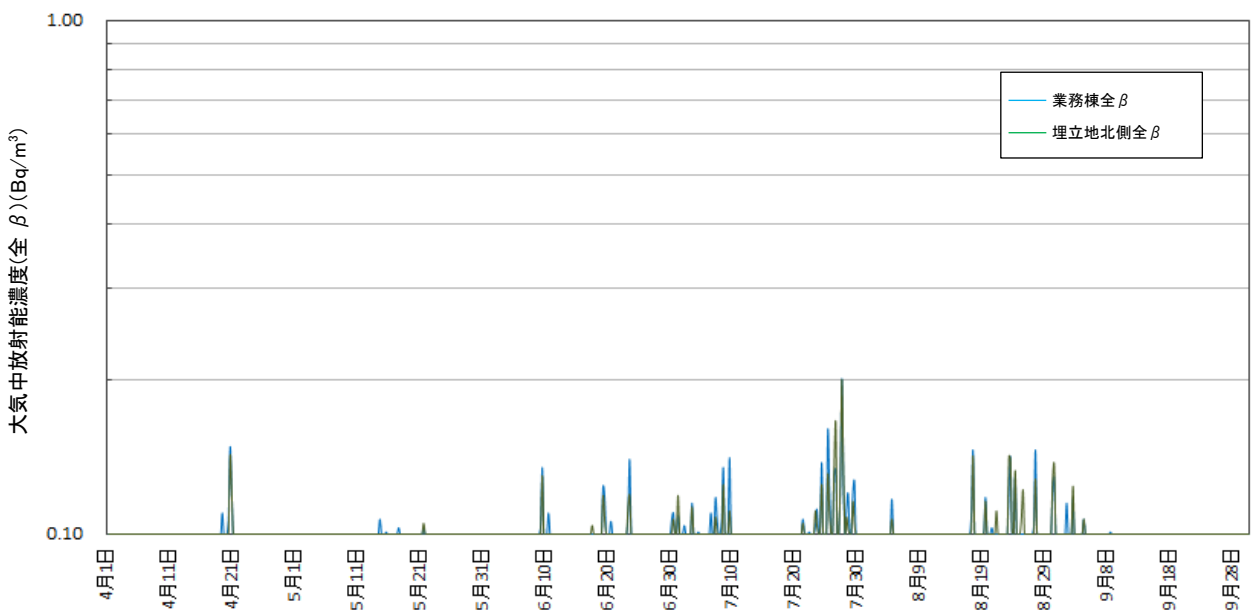


図 3-2-2 (2) 大気中放射能濃度(全 β)の経時変化(令和7年4月~令和7年9月)

- (注) 1) 測定値は、大気中のダストを6時間連続吸引して測定する6時間ごとの値であり、 α 線、 β 線を放出する放射性核種の放射能濃度を吸引終了後11時間50分経過した後10分間測定した値である。
- 2) 全 α : $0.01\text{Bq}/\text{m}^3$ 未満、全 β : $0.1\text{Bq}/\text{m}^3$ 未満をND(検出下限値未満)とした。
- 3) 大気中放射能濃度の値は、風で土やちりが舞い上がったり、天然のラドンなどの放射性物質の影響で変動することがあり、これらの値は震災以前から検出されている。
- 4) メンテナンス等による欠測
 業務棟:4/24 12:00-24:00、6/4 12:00-6/5 6:00、8/21 12:00-8/22 6:00
 埋立地北側:4/24 18:00-4/25 6:00、6/5 12:00-6/6 6:00、8/22 12:00-8/23 6:00

3-3 空間線量率(連続測定)

1) 調査地点

空間線量率(連続測定)は、正門付近及び西門付近の2か所に設置した測定装置により調査している。調査地点を図3-3-1に示す。



図 3-3-1 空間線量率(連続測定)の調査地点



正門付近の測定装置



西門付近の測定装置
(背面は防じんネット)



データ収集サーバ
(管理棟に配置)



線量率表示機
(正門付近に設置)

写真 3-3-1 空間線量率(連続測定)の調査状況

2) 調査結果

空間線量率(連続測定)の調査結果を表 3-3-1 及び図 3-3-2 に示す。

表 3-3-1 空間線量率(連続測定)の調査結果 (令和7年4月~令和7年9月)

(単位: $\mu\text{Sv/h}$)

項目			令和7年度					
			4月	5月	6月	7月	8月	9月
空間線量率	正門付近	平均值	0.23	0.23	0.23	0.24	0.24	0.24
		最大値	0.28	0.27	0.27	0.28	0.28	0.28
		最小値	0.19	0.19	0.18	0.19	0.19	0.19
	西門付近	平均值	0.19	0.19	0.19	0.19	0.19	0.20
		最大値	0.23	0.22	0.22	0.24	0.23	0.23
		最小値	0.15	0.15	0.15	0.15	0.16	0.16

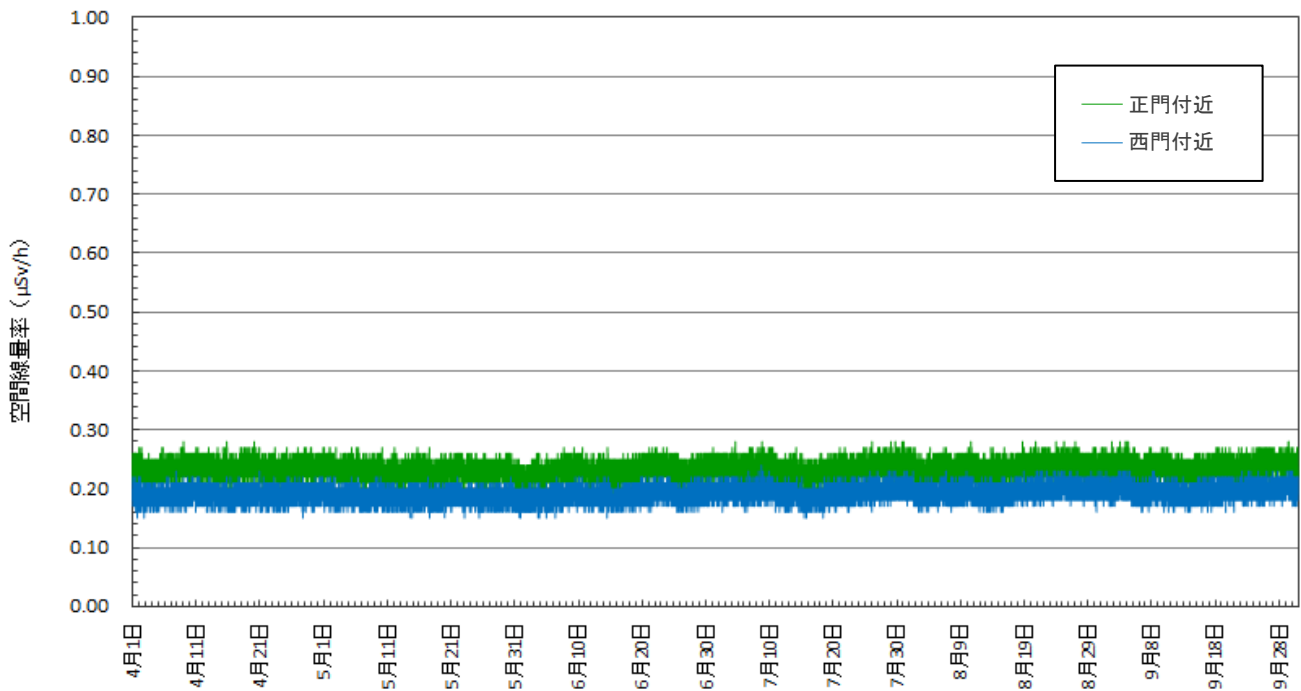


図 3-3-2 空間線量率(連続測定)の経時変化 (令和7年4月~令和7年9月)

(注) 1) 10分間移動平均値の推移を示す。

(例: 9:00の値は8:51~9:00の1分ごとの線量値の平均)

2) 空間線量率の値は、天候等の状況によって変動することがある。また、周辺環境からの影響等により、測定地点ごとに差異が生じる。

3) メンテナンス等による欠測

正門付近:7/10 13:08-14:07

西門付近:7/10 10:40-11:58